

科目名	キャリアデザインⅠ				
担当教員	大貫未貴	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	190
授業概要、目的、授業の進め方	wishの学生として学校生活を送るためのルールを知る 学校生活の不安を解消し、やる気と自信を生む 仲間づくりを通じて、コミュニケーション力を高めるワークを行う 就活に伴う企業研究の時間にする				
学習目標 (到達目標)	学校生活でのルールを知り、社会人となる人材育成を行う。 就職対策として企業について知る、自己を分析し知る。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	ライフデザインナビ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	オリエンテーション (学校を知る・スケジュールを知る・学校の規律を学ぶ)		手引き		
11～20	パソコンの設定・使い方指導		パソコン演習		
21～30	学年交流、クラス交流		グループディスカッション		
31～40	ゴールデンウィークの課題確認・時間割、テキスト説明・クラス交流		グループディスカッション		
41～50	クラスホームルーム、コミュニケーションタイム		グループディスカッション		
51～60	クラスインフォメーション、ディスカッション、履歴書書き		グループディスカッション		
61～65	国内研修旅行		グループディスカッション		
66～70	国内研修旅行振り返り		レポート		
71～80	グループディスカッション、クラスホームルーム、会場見学		グループディスカッション		
81～85	1、2年生交流会		グループディスカッション		
86～90	夏休み前のインフォメーション、大掃除		プリント		
91～95	よのなか科グループディスカッション		グループディスカッション		
96～100	クラスホームルーム、修了式		プリント		
101～110	卒業生座談会、クラスホームルーム		レポート		
111～120	自己PR、3stepシート作成		3stepシート		
120～130	ブライダルフェア見学、レポート書き		レポート		
131～140	よのなか科、マイナビエントリーシート書き		グループディスカッション		
141～150	マイナビエントリーシート書き、クラス交流		エントリーシート		
151～160	卒業制作見学、感想レポート書き		レポート		
161～170	よのなか科、課外授業、プレ求職登録面接		レポート		
171～180	プレ求職登録面接、課外授業		レポート		
181～190	プレ求職登録面接、課外授業、修了式、大掃除		レポート		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出席率 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			学年全体、クラス全体へのインフォメーションの場なので、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。		
実務経験教員の経歴		レストランサービス2年、ドレススタリスト4年経験			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	就職対策				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	70
授業概要、目的、授業の進め方	就職活動の流れや必要な事柄について理解し、個人で準備ができるように指導する 1. 就職活動の流れ 2. 自己分析 3. 企業研究 4. 書類・面接について				
学習目標 (到達目標)	自分の人生スケジュールを考えながら、就職活動に向かうことができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	勝つための就職ガイド Success				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	就職活動の心構え 就職活動の流れ	テキスト P.6～			
3 4	履歴書・エントリーシートの書き方	テキスト P.14～			
5～8	動画履歴書作成	テキスト P.18～			
9 10	自己分析 自分自身を知る	テキスト P.27～			
11 12	職業を知る 自己分析				
13～18	論理的文章の書き方・考え方				
19 20	情報収集・企業研究				
21～23	情報収集のポイント	テキスト P.36～			
24～30	面接指導 自己分析 自己PR	テキスト P.52～			
31～35	面接練習 ・ 企業研究 ・ サイトの活用	テキスト P.66～			
36～50	就職研修 履歴書の写真撮影など				
51～55	研修振り返り・企業研究				
55～60	就職研修(1月)・求職登録面接				
61～70	就職研修(2月)・求職登録面接				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
学習意欲50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。			
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	テキストを中心に文書の書き方を繰り返し学習する。PCを使って、実際の社内文書、社外文書、メール文書等を仕上げていく				
学習目標 (到達目標)	敬語、ビジネス用語と漢字、基礎ビジネス文書が書ける				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	実践ビジネスマナー				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	ガイド 第1章 表記技能		漢字、書式のテキスト内の問題を解く		
5～9	ガイド 第2章 表現技能		正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
10～13	ガイド 第3章 実務技能		社外文書の例を探す／ロールプレイ		
12～15	過去問題、PCを使って文章を作成する				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
試験結果50% 出席50%		専門用語やビジネスシーンで使う単語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				
36～50	就職研修 履歴書の写真撮影など				
51～55	研修振り返り・企業研究				
55～60	就職研修(1月)・求職登録面接				
61～70	就職研修(2月)・求職登録面接				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
学習意欲50% 出席50%		専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅰ				
担当教員	大貫未貴	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	1. 意欲的な心構え・自分自身の可能性を導き出す為の為に、体験→気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	半年毎の目標を設定させ、目標の実現を目指す為の思考力を学ぶ				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パート1 マジックドア1 夢と目標		個人作業・グループディスカッション		
2	パート1 マジックドア2 間違っただ思い込みと言ひ訳		個人作業・グループディスカッション		
3,4	パート1 マジックドア3 自分への信頼を取り戻すために①		個人作業・グループディスカッション		
5,6	パート1 マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために②		個人作業・グループディスカッション		
7	パート1 マジックドア5 目標を設定しよう		個人作業・グループディスカッション		
8	パート2 マジックドア1 プラス思考が能力・可能性を広げる		個人作業・グループディスカッション		
9、10	パート2 マジックドア2 考え方を換えれば行動が変わる		個人作業・グループディスカッション		
11、12	パート2 マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決する		個人作業・グループディスカッション		
13,14	パート2 マジックドア4 コミュニケーションスタイルを見直そう		個人作業・グループディスカッション		
15	パート2 マジックドア5 目標が才能・可能性を开花させる		個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			明確な目標設定を行なわせ、常に向上心を持たせられるよう留意する。		
実務経験教員の経歴	レストランサービス2年、ドレススタリスト4年経験				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	コミュニケーション				
担当教員	大貫未貴	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1.社会においてコミュニケーションの大切さを知る 2.あらゆる場面で、よりスムーズなコミュニケーションをとるための技術を身につける				
学習目標 (到達目標)	コミュニケーション検定初級の取得を目指す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウイネット発行 コミュニケーション技法・コミュニケーション検定初級 公式ガイドブック&問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	・検定詳細、動機付け、授業の進め方 ・行動をチェックする ・コミュニケーションの定義		講義（コミュニケーション技法テキスト使用）		
3・4	・コミュニケーションの基本を身に着けよう		講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）		
5・6	・話すときの心構えを理解しよう ・効果的な話し方を身に着けよう		講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）		
7・8	・きれいな発声・発音を身に着けよう ・正しい日本語を身に着けよう		講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）		
9・10	・効果的な表現力を身に着けよう		講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）		
11・12	・聞くことの重要性		講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）		
13・14	・各種コミュニケーション場面とポイント		問題演習・解答解説（公式ガイドブック使用）		
15・16	過去問題1		問題演習・解答解説（公式ガイドブック使用）		
17・18	過去問題2		問題演習・解答解説		
19・20	過去問題3（マークシートを使って）		問題演習・解答解説		
21・22	過去問題4（マークシートを使って）		問題演習・解答解説		
23・24	過去問題5（マークシートを使って）		問題演習・解答解説		
25・26	過去問題4（マークシートを使って）		問題演習・解答解説		
27・28	過去問題5（マークシートを使って）		問題演習・解答解説		
29・30	検定本番、振り返り		問題演習・解答解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
過去問題テスト80%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全員合格を目指すために、復習に力を入れる 分からない部分は友達同士で共有・解決できる環境を作る		
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

科目名		ホスピタリエ			
担当教員	高橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1.ホスピタリエ資格取得をし、ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	日常生活の中にホスピタリエの視点を自然にとりいれられるようにする。 社会の課題をホスピタリティの視点で見つめ、自分の考えを持つ思考習慣を身に着ける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～5	ホスピタリエ認定講座		パワーポイント・テキスト		
6	ホスピタリエが学ぶホスピタリティ		パワーポイント		
7	ごきげんなホスピタリエになるために必要な5つの資質		パワーポイント		
8	ホスピタリエのコミュニケーション習慣		パワーポイント		
9	ホスピタリエの共感力を磨こう！		パワーポイント		
10	ホスピタリエが家族に一番近い他人になるために		パワーポイント		
11	ホスピタリエのホスピタリエ紹介		パワーポイント		
12	ホスピタリエの学校生活とファーストステップ		パワーポイント		
13	起きてから寝るまでのファーストステップ		パワーポイント		
14	ホスピタリエの5つの資質の再チェック		パワーポイント		
15	ホスピタリエの共感レポート		パワーポイント		
16	自分のイヤ 自分以外のイヤ		パワーポイント		
17	料飲ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
18	ホテルビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
19	ウェディングビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
20	フューネラルビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
21	医療ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
22	航空ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
23	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業		パワーポイント		
24	ホスピタリエの共感レポート		パワーポイント		
25	学校生活の中でホスピタリエの学びが役立つ事例レポート		パワーポイント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。		
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅰ				
担当教員	竹内正明	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	40
授業概要、目的、 授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要パソコンスキルを学び、word検定に合格する				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ ワード文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	サーティファイ WORD2021クイックマスター基本編 ワード文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1・2	Wordの基本	実習			
3・4	文字の入力と編集の基本操作	実習			
5・6	文書の編集	実習			
7・8	文書の印刷	実習			
9・10	文書の作成	実習			
11・12	表を使った文書の作成				
13・14	図形や画像を使った文書の作成	実習			
15・16	検定対策 問題集 練習問題 1	実習			
17・18	検定対策 問題集 練習問題 2	実習			
19・20	検定対策 問題集 練習問題 3	実習			
21・22	検定対策 問題集 模擬問題 1	実習			
23・24	検定対策 問題集 模擬問題 2	実習			
25・26	検定対策 問題集 模擬問題 3				
27・28	検定対策 問題集 模擬問題 4				
29・30	検定対策 問題集 模擬問題 5				
31・32	検定対策 問題集 模擬問題 6				
33・34	検定対策 問題集 模擬問題 7				
35・36	サンプル問題				
37・38	過去問題 1				
39・40	検定試験				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		問題集をクリアすることで、検定合格率がアップすることから、学生のモチベーションをキープさせ、必ず終了するように考慮する。			
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	日常英会話Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	<p>スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています。 毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。</p>				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	オリエンテーション Unit1		スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト		
3	Unit1 Lesson5 トレーニング1・2・4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング1・2・4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング1・2・4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング1・2・4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング1・2・4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング1・2・4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング1・2・4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング1・2・4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング1・2・4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング1・2・4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング1・2・4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング1・2・4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング1・2・4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング1・2・4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング1・2・4				
22	Unit16 Lesson80 トレーニング1・2・4				
23	テスト練習				
24	テスト				
25	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度40% 試験60% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			アプリを中心に学び、単語テストも適宜行う。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	海外研修				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1、海外の方との交流を通して、異文化を受け入れ、素直で他を尊重する精神を持てる人材になる。 2、現地で活躍する業界のプロフェッショナルから、業界の素晴らしさや感動体験を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	日常生活において、他の学生の価値観を尊重できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具、渡航先ガイドブック、インターネット				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～2	オリエンテーション		行程表・注意事項を確認		
3～6	ホテル研修		事前調査が必要		
7～10	ブライダル研修		事前調査が必要		
11～14	葬祭研修		事前調査が必要		
15～18	グループごとに自由行動		研修前にグループ分け、事前調査が必要		
19～20	振り返り		振り返りレポート作成		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、授業姿勢50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			渡航先によって準備が異なります。安全・安心な研修になるよう、十分な事前調査が求められます。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	センスアップセミナー				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	業界に必要なセンスアップを実習をとおして習得する				
学習目標 (到達目標)	印象の良いヘアメイクを15分以内に来れるようになる。正しい姿勢で「歩く 立つ 座る」ができる。正しい発声・発音ができる。話し方ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウイネット コミュニケーション技法 プリント対応				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	ヘアメイク:おしゃれと身だしなみの違い ヘアスタイル	ヘアメイク実習			
3 4	ヘア仕上がりチェック フルデモンストレーション 眉のみ練習	ヘアメイク実習			
5 6	メイク練習	ヘアメイク実習			
7 8	ヘアメイクを完璧に仕上げる	ヘアメイク実習			
9 10	歩き方:基本姿勢 表情 お辞儀の仕方	テキスト28・29Pを参考にしながら			
11 12	話し方:発声・活舌トレーニング	テキスト38～42p 50～52p			
13	発声・活舌トレーニング 敬語プリント	テキスト53～66p			
14 15	ビジネス会話 美しい日本語のフレーズ	テキスト67～68p			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80% 学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		お客様に見られていることを常に意識できるように学習を重ねること。			
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースⅠ				
担当教員	大貫未貴	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	125
授業概要、目的、授業の進め方	今まで学習した成果の発表をチーム分かれて制作し、保護者に向けて発表。(前期発表会) オープンキャンパスにて、高校生に向けて発表。(模擬挙式)				
学習目標 (到達目標)	自分たち自身の成長を実感する 自分たちで立てた目標を達成する				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント教材、パワーポイント、ワード				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～8	動機付け、制作		プリント、パワーポイント		
9～16	コンセプトメイク、制作		プリント、パワーポイント		
17～24	司会指導&練習、グループ活動		パワーポイント、ワード		
25～32	アテンダー指導&練習、グループ活動		パワーポイント、ワード		
33～40	音響指導&練習、グループ活動		パワーポイント、ワード		
40～48	スタイリスト・ヘアメイク指導&練習、グループ活動		パワーポイント、ワード		
49、50	グループ練習、制作物作成、チェック、直し		実習、制作、ディスカッション		
51～57	グループ練習、制作物作成、チェック、直し		実習、制作、ディスカッション		
57～64	グループ練習、制作物作成、チェック、直し		実習、制作、ディスカッション		
65～72	グループ練習、制作物作成、チェック、直し		実習、制作、ディスカッション		
73～84	リハーサル、グループ活動		実習		
85～96	リハーサル、グループ活動		実習		
97～113	本番、見学、振り返りレポート作成		実習		
114～125	本番、見学、振り返りレポート作成		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出欠席 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			前半は個人作業が多いため、スケジュールに沿って創意工夫することが重要。後半はグループ活動のためチームワークが大切。		
実務経験教員の経歴	レストランサービスを2年、ドレススタイリスト4年経験				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	フューネラルビジネス				
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	選択(必修)	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1、葬儀の仕事を通して、目指す社会人像を見つける				
学習目標 (到達目標)	目指す社会人像・スタッフ像を見つける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイントにて講義。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業の目的、葬儀を行う意味		パワポで説明。授業最後にアンケートを実施。		
2	葬祭業界の仕事と求められる力		パワポで説明。授業最後にアンケートを実施。		
3	葬儀のケーススタディから、仕事のやりがいを知る		パワポで説明。授業最後にアンケートを実施。		
4	映像視聴「プロフェッショナル納棺師 木村光希」		パワポで説明。授業最後にアンケートを実施。		
5	葬儀のケーススタディから、時間や命の大切さを知る		パワポで説明。授業最後にアンケートを実施。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出欠席100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			自分が目指す業界や職種との共通点を見つけて、自分事として考えてください。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わる。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダルスタンダード				
担当教員	伊波華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	選択(必修)	単位数		時間数	5
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ブライダルの由来について理解する 2、ディスカッションにて意見を出し合う				
学習目標 (到達目標)	一般教養として結婚式・披露宴を学ぶ(結婚式に招待されたときなど)				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ノートのみ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	結婚式にまつわる意味や由来について		パワポで説明。ディスカッション。		
2	披露宴の演出について		パワポで説明。ディスカッション。		
3	披露宴の演出について		パワポで説明。ディスカッション。		
4	披露宴の演出について		パワポで説明。ディスカッション。		
5	結婚式に招待された場合のポイント説明		パワポで説明。ディスカッション。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出欠席100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			グループディスカッションを通して、自分の考えを持ち人に述べる力を育てる。ブライダルにおける一般常識を学ぶ		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナー、アテンダー、衣裳コーディネーターとして現場に約12年携わる				

科目名	ホテル概論Ⅰ（初級編）				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	5
授業概要、目的、 授業の進め方	ホテルや宿泊産業の概要、観光産業の中の位置付けを理解する。ホテルの種類や形態、その組織及び代表的な職種とその業務内容を体系的に学び、業務の基礎知識も身につけて行く。そして、ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、この後に続く就職活動・進路選択に役立てて行く。				
学習目標 (到達目標)	1.ホテル業界の概要、ホテルの種類、及び各部門の代表的な職種・業務内容の把握と基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント教材（適宜、レジュメ資料を配布）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ホテル業界を取り巻く環境・現況		レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
2	ホテルの種類・形態		↓		
3	ホテルの職種・職務内容				
4	ホテルの形態 / ホテルの種類・組織・職種				
5	代表的なホテル 事例紹介				
評価方法・成績評価基準					
出席(ミニ課題含む) 40点 授業態度 10点 中間試験 20点, 期末試験 30点 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後に続くインターンや就職活動・進路選択に役立てて行く。		
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

科目名	ホテル概論Ⅰ				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択(ホテルコース)	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	ホテルや宿泊産業の概要、観光産業の中の位置付けを理解する。ホテルの種類や形態、その組織及び代表的な職種とその業務内容を体系的に学び、業務の基礎知識も身につけて行く。そして、ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、この後に続く就職活動・進路選択に役立てて行く。				
学習目標 (到達目標)	1.ホテル業界の概要、ホテルの種類、及び各部門の代表的な職種・業務内容の把握と基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント教材(適宜、レジュメ資料を配布)				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1、2	ガイダンス / 講師自己紹介(業界経歴) ホテルの概要	レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明			
3、4	ホテルの概要 / ホテルで働く魅力				
5、6	ホテルの成り立ち・歴史 / ホテルの形態・種類				
7、8	観光産業の中のホテルの位置付け / 業界の現況				
9、10	ホテルの仕事1 宿泊部門(組織・職種・業務内容・基礎知識)				
11、12	ホテルの仕事1 宿泊部門(組織・職種・業務内容・基礎知識)				
13、14	ホテルの仕事2 料飲部門・宴会部門 (組織・職種・業務内容・基礎知識)				
15、16	ホテルの仕事2 料飲部門・宴会部門 (組織・職種・業務内容・基礎知識)				
17、18	ホテルで働く資質・心構え	↓			
19、20	キャリアプラン / まとめ	期末レポート作成			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席(ミニ課題含む) 40点 授業態度 10点 中間試験 20点, 期末試験 30点 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後に続くインターンや就職活動・進路選択に役立てて行く。			
実務経験教員の経歴	ホテル(宿泊部門、料飲部門)にて計7年間勤務した。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	宿泊実務Ⅰ				
担当教員	鈴木敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択(ホテルコース)	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	テキスト、パワーポイントを使用し仕事内容を理解し知識を身に着ける。 実習を交え実践的な動きや技の習得を目指す。				
学習目標 (到達目標)	宿泊部門の仕事内容を理解し、ベル・コンシェルジュの実務をできるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ホテルテキスト（フロント・サービス編）、ホテルテキスト（フロント・オフィス編）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	ガイダンス		テキスト、パワーポイント		
3・4	宿泊部門の業務		テキスト、パワーポイント		
5・6	ベル業務 実習（エレベーターの乗降）		テキスト、パワーポイント、実習		
7・8	ベル業務 実習（お出迎え、フロントへの案内）		テキスト、パワーポイント、実習		
9・10	ベル業務 実習（客室案内）		テキスト、パワーポイント、実習		
11・12	ベル・クローク業務 実習（荷物の預かり）		テキスト、パワーポイント、実習		
13・14	実習（荷物の預かり）		各グループに分かれ実践演習（ロールプレイ）		
15・16	実技テスト、振り返り		各グループに分かれ実践演習（ロールプレイ）		
17・18	コンシェルジュ業務		テキスト、パワーポイント		
19・20	コンシェルジュ業務、ビデオを見てのレポート		テキスト、ビデオ、レポート		
21・22	コンシェルジュサービス（ケーススタディ）		テキスト、パワーポイント、プリント		
23・24	コンシェルジュサービス（ケーススタディ）		テキスト、パワーポイント、プリント		
25	実技テスト、振り返り		テキスト		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率20% 授業態度10% 試験60%、レポート10% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・ C(60点以上)・D(59点以下)とする。			宿泊実務はホテルの宿泊部門の基礎を学ぶ為、 座学と実習を交え理解し、就職活動に役立てる。		
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

科目名	料飲サービス（実務）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択(ホテルコース)	単位数		時間数	19（前9、後10）
授業概要、目的、授業の進め方	ホテルの料飲部門に必要な知識を座学形式で身につける。 実際の機材などを確認しながら、目から入る情報も大切にする。				
学習目標 （到達目標）	基本的な料飲部門の知識を身につける（什器、食器、備品類、西洋料理、朝食、日本料理、中国料理の基礎知識、宴会部門の基礎知識）				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	Ⅰ 第1章 料飲部門の概要		ホテルの料飲部門を知る ホテルレストランの種類、宴会の種類を知る		
2.3	Ⅰ 第2章 什器・食器・備品類の知識		銀食器の種類を学ぶ 陶磁器の種類を学ぶ		
4.5	Ⅰ 第2章 什器・食器・備品類の知識		ガラス食器の種類を学ぶ、リネン類、ワゴン類を学ぶ		
6.7	Ⅰ 第4章 西洋料理の基礎知識		フランス料理のフルコースの概要を学ぶ		
8	Ⅰ 第4章 西洋料理の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく		
9	確認テスト				
10.11	Ⅰ 第5章 朝食の基礎知識		朝食の料理内容やアメリカンブレイクファーストやコンチネンタルブレイクファースト等を学ぶ		
12.13	Ⅰ 第6章 日本料理・中国料理の基礎知識		日本料理の種類や作法を学ぶ		
14.15	Ⅰ 第6章 日本料理・中国料理の基礎知識		中国料理の種類や作法を学ぶ		
16	Ⅲ 第1章 宴会部門概要		宴会の概要を学ぶ		
17	Ⅲ 第3章 宴会サービス		宴会のサービス方法を学ぶ		
18	2年次の国家検定取得の意義と動機付け		国家検定について説明し、取得の意義や重要性を伝える		
19	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			基本的な知識を身につけることは大切です。基本的な備品の名前や西洋料理、朝食、日本料理、中国料理を学ぶことで料飲の世界の奥深さや魅力も知ってほしいと考えています。また、知識を身につけることでお客様へのご案内に自信が付き、接客時にお客様へお伝えすることができます。また、自身の2年次のコース選択や国家検定取得に向けた意欲につなげてほしいとも考えています。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名	料飲サービスⅠ（演習）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択(ホテルコース)	単位数		時間数	41（前29、後12）
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>前期は、ホテルでの料飲サービスに必要な基本的知識を実践形式で身につける。 実際に動きながら、自身の体に技術を覚えさせるような意気込みで進めていく。 後期は、前期で学んだ技術が身についているか確認し、成長を実感する。 また、さらに高度な技術を身につけるとともに、2年次のコース選択の考察にも活かす。</p>				
学習目標 (到達目標)	一連のレストランサービスができるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2	接客のお辞儀と挨拶、サービスの実践	お辞儀と接客7大用語がきれいにできる。プレート2枚持ちを実践し、お皿の重さを感じてみる。			
3.4	演習のセッティング、リネン類のセッティング	テーブルの開閉の仕方、クロス、ナプキン等の取り扱い、セッティング			
5.6	お迎え、着席補助、メニューサービス、オーダーテイク				
7.8	皿持ち、プレートサービス、下げ				
9.1	トレイサービス（タンブラー、脚付きグラス）				
11.12	ワインサービス				
13.14	パンサービス、コーヒーサービス				
15.16	一連の流れ（お迎え、着席補助、オーダー、離席補助、お見送り）	一連の流れを止めながら、確認していく			
17.18	一連の流れ（お迎え、着席補助、オーダー、離席補助、お見送り）	一連の流れを止めながら、確認していく			
19.2	実技テスト①				
21.22	ワイン抜栓を実践で学ぶ				
23-29	インターンシップ前、準備、確認				
30	前期技術の振り返り				
31.32	テーブルサービスの形態を実践で学ぶ	ロシア式、フランス式、イギリス式、アメリカ式			
33.34	スープチュリーンを実践で学ぶ				
35.36	フルコースのテーブルセッティングを実践で学ぶ	前菜、スープ、魚、肉、水、シャンパン、白ワイン、赤ワイン			
37.38	ホテルでのバンケット研修				
39.4	日本料理のサービスを実践で学ぶ 中国料理のサービスを実践で学ぶ				
41	全体振り返り、2年生への意識づけ				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		ホテルでの料飲サービスの基本的技術が身につくように、日々の授業で習う技術を大切にしてください。また、技術を磨くことは自身のためでもあります。いちばんはお客様に楽しいお食事の時間を提供できるためだということを理解しながら、技術を身に付けてください。			
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名	プロトコール検定対策				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	選択(ホテルコース)	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	NPO法人日本マナー・プロトコール協会が実施する日本人として社会人として必須のマナーやプロトコール(国際儀礼)に関わる知識と技能を認定する資格です。国際ビジネス、サービス産業、教育業界をはじめ、就職、ビジネスの第一線で活かすことができます。				
学習目標 (到達目標)	マナー・プロトコール検定3級合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	マナー&プロトコールの基礎知識				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション、マナーやプロトコールを学ぶ意義		日本、西洋、アジアのマナーの成り立ち		
2	第1章 マナーの歴史と意味		日本、西洋、アジアのマナーの成り立ち		
3	第2章 国際人としてのプロトコール		プロトコールの原則、パーティ、国旗		
4.5	第3章 社会人に必要なマナー		言葉遣い、話し方、服装 贈答(祝儀、不祝儀、袱紗)、手紙のマナー		
6.7	第4章 ビジネスシーンのマナー		会社の仕組み、電話応対 来客応対(茶菓応対)、ビジネス文書、電子メール		
8	第5章 和食のマナー		和室のマナー		
9.1	第6章 西洋料理のマナー		西洋料理とアジアの食事のマナー		
11	第7章 冠のしきたり		主な通過儀礼		
12	第8章 婚のしきたり		婚約、結婚式のマナー		
13	第9章 葬のしきたり		葬儀、法要の日本知識		
14	第10章 祭りのしきたり		年中行事		
15	模擬問題				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲(授業態度)20%、検定合格30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			マナーは人と人をつなぐ潤滑油。お付き合いに必須の冠婚葬祭のしきたりや食事の作法、通過儀礼などが確認できます。 社会人として必要なビジネスマナーや異文化交流の基本となるプロトコールは、業種や職種が変わっても必要なものです。生涯にわたって役立つものです。		
実務経験教員の経歴	ホテル(宿泊部門、料飲部門)にて計7年間勤務した。				

科目名	ホテル業界・顧客研究				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択(ホテルコース)	単位数		時間数	75
授業概要、目的、授業の進め方	将来、ホテルで働く者として、ホテル業界について自身で調査をし、理解を深めていく。調査したことを発表し、共有することで興味を広げたり、全体の理解度高めていく。また、顧客としてホテルにいらっしゃるお客様がどのような方々なのかを体験から学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	業界や顧客を理解し、様々なニーズに対応できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1、2	目的説明、調査テーマ検討①				
3、4	調査 ホテル業界・顧客①	パソコンで調査			
5、6	体験①	体験			
7、8	共有①	シートにまとめる			
9、10	まとめ①				
11、12	目的説明、調査テーマ検討②				
13、14	調査 ホテル業界・顧客②	パソコンで調査			
15～20	体験②、共有②、まとめ	体験、シートにまとめる			
21、22	目的説明、調査テーマ検討③				
23、24	調査 ホテル業界・顧客③	パソコンで調査			
25～30	体験、共有、まとめ③	体験、シートにまとめる			
31、32	目的説明、調査テーマ検討④				
33、34	調査 ホテル業界・顧客④	パソコンで調査			
35～40	体験、共有、まとめ④	体験、シートにまとめる			
41、42	目的説明、調査テーマ検討⑤				
43、44	調査 ホテル業界・顧客⑤	パソコンで調査			
45～50	体験、共有、まとめ⑤	体験、シートにまとめる			
51、52	目的説明、調査テーマ検討⑥				
53、54	調査 ホテル業界・顧客⑥	パソコンで調査			
55～60	体験、共有、まとめ⑥	体験、シートにまとめる			
61、62	目的説明、調査テーマ検討⑦				
63、64	調査 ホテル業界・顧客⑦	パソコンで調査			
65～70	体験、共有、まとめ⑦	体験、シートにまとめる			
71～75	1年のまとめ、振り返り				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
確認テスト30%、出席率40%、学習意欲(授業態度)30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		自分で判断をもって評価をしましょう。それを体験することで、理解を深め、後者に活かせる経験になるよう努めましょう。			
実務経験教員の経歴	ホテル(宿泊部門、料飲部門)にて計7年間勤務した。				

科目名	サステナブルトラベル				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択(ホテルコース)	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	サステナブルトラベルという言葉が浸透してきた現在、働くうえで知っておいた方が良い、SDGsとホテル、観光のつながりをグループワークを通して学びます。				
学習目標 (到達目標)	SDGs、地域共生社会という一般教養を身につける。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	ガイダンス		プリント		
3、4	SDGsとは何か、		プリント		
5、6	SDGsにて興味のある項目調査				
7、8	調査内容共有				
9、10	SDGsに取り組んでいる新潟の企業		講演		
11、12	フィールドワーク事前調べ（食品マークや町にあるサインについて）				
13、14	フィールドワーク（食品マークや町にあるサインについて）				
15、16	フィールドワーク振り返り				
17、18	ホテル業界のSDGs				
19、20	まとめ		プリント		
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

科目名	ホテル英語Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択(ホテルコース)	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	1. 英語の習熟度別に分かれ、各自が会話の上達を目指し取り組む。 2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な会話やテクニックを集中的に学ぶ。 3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。				
学習目標 (到達目標)	ホテル英会話の向上				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	的確に伝わる！ホテルの英会話				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	P14～32 ホテル英語の基本の話		レベルチェックテスト		
3・4	Part3 館内施設&レストラン英会話		テキスト、CD、ロールプレイ、単語テスト		
5・6	P138～148 基本文と接客の流れをイメージしたロールプレイをしながら会話をする。		↓		
7・8	P149～159 基本文と接客の流れをイメージしたロールプレイをしながら会話をする。				
9・10	P160～170 基本文と接客の流れをイメージしたロールプレイをしながら会話をする。				
11・12	P171～181 基本文と接客の流れをイメージしたロールプレイをしながら会話をする。				
13・14	P182～192 基本文と接客の流れをイメージしたロールプレイをしながら会話をする。				
15	期末テスト・振り返り		期末テスト		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、学習意欲40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語に対して苦手意識をもっているので、予習時間を十分に取り、CDを活用したりリスニングの宿題をさせる。高校1年生レベルから教え始めるほうが効果的です。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

科目名	ホテル英会話Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択(ホテルコース)	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	英語の基礎の確認。 特に単語とボキャブラリーを増やして、多彩な言い回しができるようになる。1つの単語に対して1つの意味だけでなく、複数覚えたり熟語を使った表現を場面に合わせて使えるようにロールプレイしていく。				
学習目標 (到達目標)	インプットしている英語を間違ってもいいからアウトプットしようと努力する。英語で話すって楽しいとわかる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Hospitality English for Careers at Hotels				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	Unit 1 宿泊予約・予約変更				
3 4	Unit 2 フロントでのチェックイン・道案内	単語テスト			
5 6	ロールプレイ実習	発表			
9 10	Unit 3 フロントでのチェックアウト 外国通貨両替				
11・12	Unit 4 & Unit 11 客室案内 苦情対応	単語テスト			
13・14	ロールプレイ実習	発表			
15・16	Unit 5 大阪城観光 Unit 10 ギフトショップにて				
17・18	Unit 6 遺失物対応 バゲージダウン	単語テスト			
19・20	ロールプレイ実習	発表			
21・22	Unit 7 レストランでのオーダーテイキング				
23・24	Unit 8 朝食のオーダーテイキング	単語テスト			
25・26	ロールプレイ実習	発表			
27・28	Unit 9 & Unit 12 レストラン予約 苦情対応				
29・30	振り返り・テスト	単語テスト			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
単語テスト20%、実習課題60%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		英検準2級レベル。とにかく話をさせるように、身近な話題から取り掛かるように工夫する。			
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名	キャリアデザインⅡ				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	90
授業概要、目的、授業の進め方	社会人になる前の心と体の準備を行う。自身の将来を考え、企業でどのように活躍していきたいかなど考える。目標を立て、そこに向かって学生時代に行うことができることを精一杯行う。				
学習目標 (到達目標)	最終学年としての自覚を持ち、社会人としての人材育成を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スクールライフアンケート、その他プリントなど				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～5	学校生活のルールを改めて理解する。新しいクラスの友人とコミュニケーションを図る、就職活動	面談、自習			
6～10	就職活動の進捗状況を担任と確認する 内定者は、次の目標について考える	面談、自習			
11～15	自分を理解し、今後のキャリアデザインを考える	面談、自習			
16～20	1年生との交流を図る。	ディスカッション			
21～25	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める				
26～30	様々なイベントをお互いに見学しあい、刺激しあう。 それを自身のイベントに活かす。	レポート			
31～35	卒業制作に向けての準備を行う	ディスカッション			
36～40	前期を振り返る。最後の学生生活であることを意識する。	レポート			
41～50	後期の動機付け、後期目標設定、シート記入	プリント			
51～60	卒業までの残りを実感し、何をすべきか考える	ディスカッション、レポート			
61～70	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める	ディスカッション			
71～75	年明けのスケジュール確認	プリント			
76～83	クラス交流、1、2年生交流会、座談会	ディスカッション			
84～90	修了式、学生生活の振り返り、まとめ				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率50%、授業態度10%、学科テスト40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		重要ポイントのライン引きをしっかりと学習して暗記すること。 検定の出題傾向について理解すること。			
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

科目名		ビジネス実務II			
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	一度学習したテキストを中心に文書の書き方を繰り返し学習する。PCを使って、実際の社内文書、社外文書、メール文書等を仕上げしていく。新たに、即戦力として役に立つ日常ビジネスマナーを身に付ける。				
学習目標 (到達目標)	敬語、ビジネス用語と漢字、基礎ビジネス文書に加えて、電話対応、来客対応をロールプレイをしながら一人で判断して対応できるレベルにする。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	実践ビジネスマナー				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
12	ガイド 第1章	表記技能/実践ビジネスマナー 電話応対	漢字、書式のテキスト内の問題を解く/ロールプレイ		
34	ガイド 第1章	表記技能/実践ビジネスマナー 電話応対	漢字、書式のテキスト内の問題を解く/ロールプレイ		
56	ガイド 第2章	表現技能/実践ビジネスマナー 電話応対	正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
78	ガイド 第2章	表現技能/実践ビジネスマナー 来客対応・敬語	正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
9・10	ガイド 第3章	実務技能/実践ビジネスマナー 名刺の受け渡し	社外文書の例を探す/ロールプレイ		
11・12	ガイド 第3章	実務技能/実践ビジネスマナー テスト練習	社外文書の例を探す/ロールプレイ		
13・14	期末テスト				
15	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験結果50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅱ				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1. 実践行動学Ⅰで学習した内容を踏まえ、1年間の振り返りを行う 2. 働くことへの意識を気付き→認識→一般化→応用という手法をとり入れ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	社会人へでの準備→2年後の目標→ライフプランへと段階を経て、将来の自分を具現化させる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	パート3 マジックドア1 入学から今日までの成長を実感する	個人作業・グループディスカッション			
2	パート3 マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう	個人作業・グループディスカッション			
3	パート3 マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは	個人作業・グループディスカッション			
4	パート3 マジックドア4 将来を描いてみよう	個人作業・グループディスカッション			
5	パート3 マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう	個人作業・グループディスカッション			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率50%、授業態度10%、学科テスト40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		重要ポイントのライン引きをしっかりと学習して暗記すること。 検定の出題傾向について理解すること。			
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

科目名		ホスピタリエ			
担当教員	高橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	ナレッジツリーのしくみを理解し、日常生活の中で知識教養が自然に身についていく生活習慣をつくる ホスピタリティ産業の中で、ホスピタリティがどのように活用され、あるいは活用されていないかを知り、実際のビジネスの現場について学びながら、自然にセカンドステップが発想できるようにトレーニングする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	ホスピタリエが学ぶホスピタリティ	パワーポイント			
2	ホスピタリエとしてのホスピタリエの自己紹介	パワーポイント			
3	ホスピタリエの共感と同感の再確認と共感力コミュニケーション	パワーポイント			
4	知識を深めるナレッジツリー	パワーポイント			
5	ホスピタリエの教養講座①	パワーポイント			
6	ホスピタリエの教養講座②	パワーポイント			
7	ホスピタリエの教養講座③	パワーポイント			
8	ホスピタリエの教養講座④	パワーポイント			
9	ホスピタリエの教養講座⑤	パワーポイント			
10	ホスピタリエの教養講座⑥	パワーポイント			
11	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
12	自分のイヤ 自分以外の人のイヤ	パワーポイント			
13	料飲ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
14	ホテルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
15	ウエディングビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
16	フューネラルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
17	医療ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
18	航空ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
19	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業	パワーポイント			
20	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。			
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅲ				
担当教員	竹内正明		実務授業の有無	×	
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	データ入力、表計算、グラフ作成、データベース検索のスキルを学び、E X C E L 検定初級を受検する。				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ エクセル文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ E X C E L 2021クイックマスター基本編 エクセル文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～3	エクセルの基本 データの編集 表の編集		実習		
4～6	ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理		実習		
7～9	関数 データベース機能		実習		
10～12	練習問題1		実習		
13～15	練習問題2 3		実習		
16～18	模擬問題1 2		実習		
19～21	模擬問題3 4		実習		
22～24	模擬問題5 6		実習		
25・26	模擬問題7 苦手箇所の練習		実習		
27～33	サンプル問題 事前対策		実習		
34・35	エクセル検定3級受検		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			復習をメインに模擬問題を確実なものにすることで、検定合格に結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。		
実務経験教員の経歴					

科目名	日常英会話 II				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています。毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。</p>				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	オリエンテーション Unit1		スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト		
3	Unit1 Lesson5 トレーニング1・2・4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング1・2・4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング1・2・4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング1・2・4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング1・2・4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング1・2・4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング1・2・4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング1・2・4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング1・2・4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング1・2・4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング1・2・4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング1・2・4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング1・2・4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング1・2・4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング1・2・4				
22	Unit16 Lesson80 トレーニング1・2・4				
23	テスト練習				
24	テスト				
25	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度40% 試験60% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			アフリを中心にする、単語テストも運営行う。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

科目名	卒業制作				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	卒年次生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	100
授業概要、目的、授業の進め方	業界が持つ、課題等を見つけ、それに対する企画を考え、提案していく。 イベントを通して、学年全体のつながりや、プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につけ、イベントを実施する				
学習目標 (到達目標)	卒業制作発表会で、保護者や企業に発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	動機付け、発表の内容、スケジュールについて		プリント		
3.4	グループにてスケジュール確認、発表内容と報告書の作成		プリント		
7~10	企業や団体などをリストアップし、現状や取り組みについてのアンケートや調査を行う		グループワーク		
11~14	スケジュールや進め方（新グループ、メンバー）を全体で共有する				
15~18	各グループは報告書完成させる。当日の会場装飾の準備を始める 実行委員は招待客のリストを作成する				
19~22	当日の発表に必要な台本+パワポを作成する				
23~26	当日の会場で、本番のイメージをつかむ				
27~30	台本+パワポの修正。完成。				
31~36	台本見ながら全体リハーサルを行い、他のグループ発表を聞いて、卒制全体のイメージをつかむ				
37~42	全体リハーサルの準備を始める（台本とパワポのタイミングを合わせる）				
43~48	企業の方に企画や発表を見ていただき、内容をより精査する 全体リハーサルの準備を行う（前後のつながりを考える）				
49~65	全体リハーサルを行い、卒制全体の流れを一人ひとりがつかむ				
66~71	全体リハーサルの準備を行う（聞いている人に伝わる話し方を意識しよう）				
72~77	全体リハーサル⇒振り返り、修正				
78~83	前日リハーサル⇒振り返り、修正				
84~93	企業、保護者本番				
94~100	振り返り（個人シート、グループ、実行委員他）		▼		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70%、授業態度30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			積極的に取り組むこと。受け身ではなく、自分の考えを発信すること。 職業を意識した身だしなみを心がけること。		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ブライダル総論II			
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択（ウエディングコース）	単位数		時間数	65
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ブライダル・コーディネーター技能検定について理解する 2、日本と欧米の結婚式について歴史と文化を理解する 3、ブライダルビジネスについて理解する 4、ブライダルの基礎的知識について理解する				
学習目標 (到達目標)	検定出題傾向について理解し、暗記する。知識だけではなく、職業観を意識させていく。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～30	過去問題実施と解答解説		テキスト 過去問題テスト実施、解答解説		
31～40	実技試験対策		テキスト 過去問題テスト実施、解答解説		
41～55	検定勉強		テキストと課題プリント		
56～65	ブライダルコーディネーター技能検定本番		受験票		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、授業態度10%、学科テスト40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			重要ポイントのライン引きをしっかりと学習して暗記すること。 検定の出題傾向について理解すること。		
実務経験教員の経歴		ウエディングプランナーとして6年間勤務			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	プランナーズスタンダード				
担当教員	古田千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択（ウエディングコース）	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	プランナー業務の一連の流れを理解する				
学習目標 (到達目標)	初回来館から結婚式当日までの流れを理解し、即実践につなげることができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	結婚が決まってから結婚式当日までの流れ・新郎新婦の気持ちの変化について理解する。	実務			
2	ヒューマンスキルの重要性について理解する。	実務			
3.4	ヒアリングの重要性について	実務			
5.6	ウエディングビジネスにおけるメール・電話対応	実務			
7.8	ゲスト目線で結婚式のお呼ばれマナーがわかる。 服装のマナーについての注意点が説明できる。	実務			
9.10	招待状に必要なアイテムの名称がわかる、内容が説明できる。	実務			
11.12	キャプテン業務について（座学）	実務			
13.14	キャプテン業務について（実技）	演習			
15～20	プランナー業務について（卒業生講演）	演習			
21.22	結婚式当日の新郎新婦・ゲストのタイムスケジュールがわかる。	実務			
23～33	挙式～披露宴までオリジナルウエディングのプロデュース企画	実務			
34.35	挙式～披露宴までオリジナルウエディングのプロデュース企画 表	実務			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		重要ポイントを理解すること。自分で考え意見を述べること。			
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	新規接客				
担当教員	古田千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択（ウエディングコース）	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	新規接客を理解し企画や広報を考えることができる				
学習目標 (到達目標)	初回来館から成約までの流れを理解し、アイスブレイクや自分なりのセールストークができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	新規接客時の一連の流れを理解する。		実務		
3.4.5	新規接客の重要性を理解する。		実務		
6.7	<会場案内> 魅力的で効果的な会場の見せ方・話し方について考え、自分なりのセールストークができる。		実務		
8.9	<見積もり作成> サービス料の定義を理解する。消費税・サービス料の計算ができる。		実務		
10.11	<仮予約> 仮予約を確実に獲得するための対策を考える。		実務		
12.13	<申込手続き> 申込手続き時伝えるべきこと、今後の打合せスケジュールを理解する。		演習		
14.15	<申込手続き> ロープレを通し、15の手続き内容を順序よく説明できる。		演習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			重要ポイントを理解すること。自分で考え意見を述べること。		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	テーマウェディングディスプレイ				
担当教員	伊波 華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択（ウェディングコース）	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1、新郎新婦が希望するテーマにそって、ディスプレイを提案、実践する				
学習目標 (到達目標)	チームを組んで、ディスプレイを完成させる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント、資材				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	テーマウェディングを提案する	動画にてテーマウェディング説明			
2		デザイン画かく			
3	資材発注	分担し資材発注			
4					
5					
6					
7	ディスプレイ開始	動画にてテーマウェディング説明			
8					
9					
10	ディスプレイ完成	かざりつけ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実技70%、出欠席10%、授業態度20%		バンケットキャプテンを認識して実習に臨むこと。積極的に取り組むこと。職業を意識した身だしなみを心がけること。			
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナー、アテンダー、ドレスコーディネーターとして現場に12年間携わる。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ラグジュアリーサービスⅡ			
担当教員	大貫 未貴	実務授業の有無	○	授業形態
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期
必修・選択	選択(ウェディングコース)	単位数		時間数
授業概要、目的、 授業の進め方	ラグジュアリーサービス=上質なサービスを体感した上で、自分が思う・実践していき上質なサービスを定義し、実践する			
学習目標 (到達目標)	パワーポイントでプレゼンテーションをする			
テキスト・教材・参考図 書・その他資料	プリント			
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習	
1.2	動機付け、卒業生講話		プリント	
3.4	ブランド下調べ、行先決定&報告		プリント	
3~10	課外授業(ブランド訪問)		課外活動	
11・12	情報共有		グループディスカッション	
12~14	課外授業(ブランド訪問)		課外活動	
15~17	情報共有 & グループでパワポ作成		グループディスカッション & パワポ	
18~20	発表		プレゼンテーション	
評価方法・成績評価基準			履修上の注意	
出席率70%、授業態度30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			積極的に取り組むこと。受け身ではなく、 こと。 職業を意識した身だしなみを心がけるこ	
実務経験教員の経歴		レストランサービス2年、ドレススタリスト4年経験		

対面
前期
20

たいと思う

習・備考

課

、自分の考えを発信する
と。

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライズサポート				
担当教員	伊波華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択（ウェディングコース）	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	1、花嫁に当日の歩き方のアドバイスができる、当日のサポートができる 2、ドレスの扱い方と技術と知識の修得				
学習目標 (到達目標)	新郎新婦のアテンドが出来る				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2.3.4	ドレスの扱い方	実習			
5.6.7.8	新郎新婦のサポートの仕方	ドレスを着てアテンド実習			
9.10. 11.12	どんなトラブルが起こりうるか、その対処法	ディスカッション			
13～20	立ち居振る舞い、チャペルアテンドの動き	実習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実技70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		歩かせ方、誘導の仕方を通して、当日の花嫁の気持ちを感じ取れる力を身につけましょう。			
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナー、アテンダー、ドレスコーディネーターとして現場に12年間携わる。				

科目名	イベントプロデュースII (模擬披露宴)				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択 (ウエディングコース)	単位数		時間数	125
授業概要、目的、授業の進め方	1、役割を責任をもって全うする 2、全員がウエディングプランナーとしての意識を持ち行動する 3、感動を提供し、自分も感動できるくらい頑張る 4、自分の目標を意識して行動する				
学習目標 (到達目標)	イベントを成功させ、自身の目標も達成する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～4	模擬披露宴説明、役割説明、過去のムービー鑑賞	グループワーク、プリント			
5～8	役割決め				
9～12	スケジュール説明と各自作業進める				
13～16	テーマ、テーマカラーの検討、デッサン画書き始め				
17～20	式次第検討、シート作成				
21～24	再度式次第検討、シート作成				
25～28	パンフレットの作成、台本作成、BGMリストアップ、会場装飾作成				
29～35	パンフレットの作成、台本作成、BGMリストアップ、会場装飾作成				
36～41	当日の動きを想定した練習				
42～47	当日の動きを想定した練習				
48～55	当日の動きを想定した練習	実習			
56～61	当日の動きを想定した練習				
62～67	当日の動きを想定した練習				
68～73	リスクを考える・持参物を表にする、買い出し				
74～80	リハーサルとチェック、修正				
81～87	リハーサルとチェック、修正				
88～93	リハーサルとチェック、修正				
94～100	リハーサルとチェック、修正				
101～106	模擬披露宴前日 リハーサル				
107～112	模擬披露宴当日、片付け				
112～125	片付け・振り返り				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率70%、授業態度30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		積極的に取り組むこと。受け身ではなく、自分の考えを発信すること。 職業を意識した身だしなみを心がけること。			
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースII (リアルウェディング)				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択 (ウェディングコース)	単位数		時間数	125
授業概要、目的、授業の進め方	1、役割を責任をもって全うする 2、全員がウェディングプランナーとしての意識を持ち行動する 3、感動を提供し、自分も感動できるくらい頑張る 4、自分の目標を意識して行動する				
学習目標 (到達目標)	イベントを成功させ、自身の目標も達成する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～4	リアルウェディング説明、役割説明、過去のムービー鑑賞	グループワーク、プリント			
5～8	新郎新婦の発表と役割決め				
9～12	スケジュール説明と各自作業進める				
13～16	ヒアリングシートとプランニングシートの内容検討				
17～20	初回打ち合わせ				
21～24	テーマ、テーマカラーの検討、デッサン画書き始め				
25～28	式次第検討、シート作成				
29～35	再度式次第検討、シート作成				
36～41	パンフレットの作成、2回目の打ち合わせ段取り、台本作成、BGMリストアップ、カクテルの作成、会場装飾作成	▼			
42～47	当日の動きを想定した練習	実習			
48～55	当日の動きを想定した練習				
56～62	当日の動きを想定した練習				
63～68	当日の動きを想定した練習				
69～96	雨天バージョンを考える・リスクを考える・持参物を表にする、買い出し、制作物の最終確認				
96～101	リハーサルとチェック、修正				
102～107	リハーサルとチェック、修正				
108～113	ウェディング前日 リハーサル				
114～119	ウェディング当日、片付け				
120～125	片付け・振り返り	▼			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率70%、授業態度30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		バンケットキャプテンを認識して実習に臨むこと。積極的に取り組むこと。職業を意識した身だしなみを心がけること。			
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナーとして6年間勤務				

科目名	レストランサービス技能検定3級対策(学科)				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択(ウエディングコース)	単位数		時間数	90
授業概要、目的、授業の進め方	レストランサービス技能検定3級学科試験合格を目指し、座学を中心としながらテキストを進めていく(受験資格に受講することが必須)				
学習目標(到達目標)	レストランサービス技能検定3級学科試験合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	西洋料理 科飲接客サービス技法 プリント、確認テスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～3	第1章 食材・飲料等の基礎知識	第1節 食品			
4、5	第1章 食材・飲料等の基礎知識	第1節 食品			
6～8	第1章 食材・飲料等の基礎知識				
9、10	第2節 西洋料理に使用される主な食材				
11～13	第1章 食材・飲料等の基礎知識	第3節 一般的な西洋料理調理法、第4節 飲料の種類および特徴			
14、15	第1章 食材・飲料等の基礎知識	第4節 飲料の種類および特徴、第5節 メニュー			
16～18	第1章 食材・飲料等の基礎知識	第6節 西洋料理の食器用具・備品			
19、20	確認テスト				
21～23	第2章 接客の基本	第1節～第4節			
24、25	確認テスト				
26～28	第3章 宴会とレストランサービス	第1節 宴会、第2節 レストラン			
29、30	第3章 宴会とレストラン	第3節 客席案内～第8節 メニュー管理			
31～33	第3章 宴会とレストランサービス	第9節 料理、食器等の異常～第12節 食事の国際習慣			
34、35	確認テスト				
36～38	第4章 食文化				
39、40	第5章 施設管理				
41～43	第6章 苦情対応と遺失物の取り扱い				
44、45	確認テスト				
46～48	第7章 食品衛生および公衆衛生	第1節 食の衛生			
49、50	第7章 食品衛生および公衆衛生	第2節 公衆衛生～第3節 食品衛生法			
51～53	確認テスト、第8章 安全衛生	第1節 労働災害			
54、55	第8章 安全衛生	第2節 危険有害性			
56～58	第8章 安全衛生	第3節 労働安全衛生に関する法令			
59、60	全体振り返り解説				
61～63	確認テスト				
64～69	特別講習 問題演習				
70～75	特別講習 問題演習				
76～81	特別講習 問題演習				
82～87	特別講習 問題演習				
88～90	丸付け、振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト50%、出席率30%、学習意欲(授業態度)20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。※F評価者は再試験合格後、D評価となる。			食に関わる知識全般を学びます。わからない、難しい用語などは自身で調べ、頭の中に映像が浮かぶように準備をしてみてください。そうすることで食に関わる様々な事柄に興味が湧き、検定のためだけでなく自身の仕事に活かした知識を習得したいと感じるはずです。それが、お客様への食の安全にもつながります。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員(サービス全般)に6年間携わった				

科目名	レストランサービス技能検定3級対策（実技）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択（ウエディングコース）	単位数		時間数	55（前20、後35）
授業概要、目的、授業の進め方	レストランサービス技能検定3級実技試験合格を目指し、実技を中心にしながら進めていく（受験資格に受講することが必須）				
学習目標（到達目標）	レストランサービス技能検定3級実技試験合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	西洋料理 料飲接客サービス技法 日本ホテル・レストランサービス技能協会からの3級実技課題プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	動機付け、前年の実技試験課題デモンストレーションと説明				
3、4	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
5、6	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
7、8	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
9、10	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
11、12	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
13、14	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
15、16	演習 全体		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
17、18	実技確認テスト①				
19、20	実技確認テスト②				
21、22	実技試験課題デモンストレーションと説明				
23、24	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
25、26	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
27、28	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
29、30	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
31、32	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
33、34	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
35、36	演習 全体（みだしなみチェック①）		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
37、38	演習 全体		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
39、40	演習 全体		制限時間に近づけるようタイムも気にする		
41、42	演習 全体（みだしなみチェック②）		制限時間に近づけるようタイムも気にする		
43、44	演習 全体		タイムを縮める		
45、46	演習 全体		タイムを縮める		
47、48	演習 全体（みだしなみチェック③）		タイムを安定させる		
49、50	演習 全体		タイムを安定させる		
51、52	苦手パート克服				
53、54	反復練習				
55	振り返り				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		実技試験当日に緊張して制限時間をオーバーすることのないように何度も反復練習を行います。学校内の練習を日々、緊張感を保ち行うことが重要です。また、試験当日の想像をして、備品の違いや会場の違いに戸惑わないようにしていきます。			
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名	キャリアデザインⅡ				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	90
授業概要、目的、授業の進め方	社会人になる前の心と体の準備を行う。自身の将来を考え、企業でどのように活躍していきたいかなど考える。目標を立て、そこに向かって学生時代に行うことができることを精一杯行う。				
学習目標 (到達目標)	最終学年としての自覚を持ち、社会人としての人材育成を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スクールライフアンケート、その他プリントなど				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～5	学校生活のルールを改めて理解する。新しいクラスの友人とコミュニケーションを図る、就職活動	面談、自習			
6～10	就職活動の進捗状況を担任と確認する 内定者は、次の目標について考える	面談、自習			
11～15	自分を理解し、今後のキャリアデザインを考える	面談、自習			
16～20	1年生との交流を図る。	ディスカッション			
21～25	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める				
26～30	様々なイベントをお互いに見学しあい、刺激しあう。 それを自身のイベントに活かす。	レポート			
31～35	卒業制作に向けての準備を行う	ディスカッション			
36～40	前期を振り返る。最後の学生生活であることを意識する。	レポート			
41～50	後期の動機付け、後期目標設定、シート記入	プリント			
51～60	卒業までの残りを実感し、何をすべきか考える	ディスカッション、レポート			
61～70	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める	ディスカッション			
71～75	年明けのスケジュール確認	プリント			
76～83	クラス交流、1. 2年生交流会、座談会	ディスカッション			
84～90	修了式、学生生活の振り返り、まとめ				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率50%、授業態度10%、学科テスト40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		重要ポイントのライン引きをしっかりと学習して暗記すること。 検定の出題傾向について理解すること。			
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅱ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	一度学習したテキストを中心に文書の書き方を繰り返し学習する。PCを使って、実際の社内文書、社外文書、メール文書等を仕上げていく。新たに、即戦力として役に立つ日常ビジネスマナーを身に付ける。				
学習目標 (到達目標)	敬語、ビジネス用語と漢字、基礎ビジネス文書に加えて、電話応対、来客応対をロールプレイをしながら一人で判断して対応できるレベルにする。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	実践ビジネスマナー				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
12	ガイド 第1章	表記技能/実践ビジネスマナー 電話応対	漢字、書式のテキスト内の問題を解く/ロールプレイ		
34	ガイド 第1章	表記技能/実践ビジネスマナー 電話応対	漢字、書式のテキスト内の問題を解く/ロールプレイ		
56	ガイド 第2章	表現技能/実践ビジネスマナー 電話応対	正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
78	ガイド 第2章	表現技能/実践ビジネスマナー 来客応対・敬語	正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
9・10	ガイド 第3章	実務技能/実践ビジネスマナー 名刺の受け渡し	社外文書の例を探す/ロールプレイ		
11・12	ガイド 第3章	実務技能/実践ビジネスマナー テスト練習	社外文書の例を探す/ロールプレイ		
13・14	期末テスト				
15	振り返り				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
試験結果50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。			
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅱ				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1. 実践行動学Ⅰで学習した内容を踏まえ、1年間の振り返りを行う 2. 働くことへの意識を気づき→認識→一般化→応用という手法をとり入れ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	社会人へでの準備→2年後の目標→ライフプランへと段階を経て、将来の自分を具現化させる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パート3 マジックドア1 入学から今日までの成長を実感する		個人作業・グループディスカッション		
2	パート3 マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう		個人作業・グループディスカッション		
3	パート3 マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは		個人作業・グループディスカッション		
4	パート3 マジックドア4 将来を描いてみよう		個人作業・グループディスカッション		
5	パート3 マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう		個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、授業態度10%、学科テスト40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			重要ポイントのライン引きをしっかりと学習して暗記すること。 検定の出題傾向について理解すること。		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

科目名		ホスピタリエ			
担当教員	高橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	ナレッジツリーのしくみを理解し、日常生活の中で知識教養が自然に身につけていく生活習慣をつくる ホスピタリティ産業の中で、ホスピタリティがどのように活用され、あるいは活用されていないかを知り、実際のビジネスの現場について学びながら、自然にセカンドステップが発想できるようにトレーニングする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	ホスピタリエが学ぶホスピタリティ	パワーポイント			
2	ホスピタリエとしてのホスピタリエの自己紹介	パワーポイント			
3	ホスピタリエの共感と同感の再確認と共感力コミュニケーション	パワーポイント			
4	知識を深めるナレッジツリー	パワーポイント			
5	ホスピタリエの教養講座①	パワーポイント			
6	ホスピタリエの教養講座②	パワーポイント			
7	ホスピタリエの教養講座③	パワーポイント			
8	ホスピタリエの教養講座④	パワーポイント			
9	ホスピタリエの教養講座⑤	パワーポイント			
10	ホスピタリエの教養講座⑥	パワーポイント			
11	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
12	自分のイヤ 自分以外の人のイヤ	パワーポイント			
13	料飲ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
14	ホテルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
15	ウエディングビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
16	フューネラルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
17	医療ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
18	航空ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
19	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業	パワーポイント			
20	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。			
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅲ				
担当教員	竹内正明		実務授業の有無	×	
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	データ入力、表計算、グラフ作成、データベース捜査のスキルを学び、E X C E L 検定初級を受検する。				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ エクセル文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ E X C E L 2021クイックマスター基本編 エクセル文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～3	エクセルの基本 データの編集 表の編集		実習		
4～6	ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理		実習		
7～9	関数 データベース機能		実習		
10～12	練習問題1		実習		
13～15	練習問題2 3		実習		
16～18	模擬問題1 2		実習		
19～21	模擬問題3 4		実習		
22～24	模擬問題5 6		実習		
25・26	模擬問題7 苦手箇所の練習		実習		
27～33	サンプル問題 事前対策		実習		
34・35	エクセル検定3級受検		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			復習をメインに模擬問題を確実なものにすることで、検定合格に結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。		
実務経験教員の経歴	営業、企画、学校設立、教育指導経験あり				

科目名	日常英会話Ⅱ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています。毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。</p>				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	オリエンテーション Unit1		スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト		
3	Unit1 Lesson5 トレーニング1・2・4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング1・2・4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング1・2・4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング1・2・4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング1・2・4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング1・2・4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング1・2・4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング1・2・4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング1・2・4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング1・2・4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング1・2・4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング1・2・4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング1・2・4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング1・2・4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング1・2・4				
22	Unit16 Lesson80 トレーニング1・2・4				
23	テスト練習				
24	テスト				
25	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度40% 試験60% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			アプリを中心に学び、単語テストも適宜行う。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり				

科目名	卒業制作				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	卒年次生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	100
授業概要、目的、授業の進め方	業界が持つ、課題等を見つけ、それに対する企画を考え、提案していく。 イベントを通して、学年全体のつながりや、プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につけ、イベントを実施する				
学習目標 (到達目標)	卒業制作発表会で、保護者や企業に発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	動機付け、発表の内容、スケジュールについて		プリント		
3.4	グループにてスケジュール確認、発表内容と報告書の作成		プリント		
7～10	企業や団体などをリストアップし、現状や取り組みについてのアンケートや調査を行う		グループワーク		
11～14	スケジュールや進め方（新グループ、メンバー）を全体で共有する				
15～18	各グループは報告書完成させる。当日の会場装飾の準備を始める 実行委員は招待客のリストを作成する				
19～22	当日の発表に必要な台本+パワポを作成する				
23～26	当日の会場で、本番のイメージをつかむ				
27～30	台本+パワポの修正。完成。				
31～36	台本見ながら全体リハーサルを行い、他のグループ発表を聞いて、卒制全体のイメージをつかむ				
37～42	全体リハーサルの準備を始める（台本とパワポのタイミングを合わせる）				
43～48	企業の方に企画や発表を見ていただき、内容をより精査する 全体リハーサルの準備を行う（前後のつながりを考える）				
49～65	全体リハーサルを行い、卒制全体の流れを一人ひとりがつかむ				
66～71	全体リハーサルの準備を行う（聞いている人に伝わる話し方を意識しよう）				
72～77	全体リハーサル→振り返り、修正				
78～83	前日リハーサル→振り返り、修正				
84～93	企業、保護者本番				
94～100	振り返り（個人シート、グループ、実行委員他）		▼		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70%、授業態度30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			積極的に取り組むこと。受け身ではなく、自分の考えを発信すること。 職業を意識した身だしなみを心がけること。		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ブライダル総論Ⅱ			
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択(ウエディングコース)	単位数		時間数	65
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ブライダル・コーディネーター技能検定について理解する 2、日本と欧米の結婚式について歴史と文化を理解する 3、ブライダルビジネスについて理解する 4、ブライダルの基礎的知識について理解する				
学習目標 (到達目標)	検定出題傾向について理解し、暗記する。知識だけではなく、職業観を意識させていく。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～30	過去問題実施と解答解説		テキスト 過去問題テスト実施、解答解説		
31～40	実技試験対策		テキスト 過去問題テスト実施、解答解説		
41～55	検定勉強		テキストと課題プリント		
56～65	ブライダルコーディネーター技能検定本番		受験票		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、授業態度10%、学科テスト40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			重要ポイントのライン引きをしっかりと学習して暗記すること。 検定の出題傾向について理解すること。		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	プランナーズスタンダード				
担当教員	古田千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択（ウエディングコース）	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	プランナー業務の一連の流れを理解する				
学習目標 (到達目標)	初回来館から結婚式当日までの流れを理解し、即実践につなげることができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	結婚が決まってから結婚式当日までの流れ・新郎新婦の気持ちの変化について理解する。	実務			
2	ヒューマンスキルの重要性について理解する。	実務			
3.4	ヒアリングの重要性について	実務			
5.6	ウエディングビジネスにおけるメール・電話対応	実務			
7.8	ゲスト目線で結婚式のお呼ばれマナーがわかる。 服装のマナーについての注意点が説明できる。	実務			
9.10	招待状に必要なアイテムの名称がわかる、内容が説明できる。	実務			
11.12	キャプテン業務について（座学）	実務			
13.14	キャプテン業務について（実技）	演習			
15～20	プランナー業務について（卒業生講演）	演習			
21.22	結婚式当日の新郎新婦・ゲストのタイムスケジュールがわかる。	実務			
23～33	挙式～披露宴までオリジナルウエディングのプロデュース企画	実務			
34.35	挙式～披露宴までオリジナルウエディングのプロデュース企画 表	実務			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		重要ポイントを理解すること。自分で考え意見を述べること。			
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	新規接客				
担当教員	古田千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択（ウエディングコース）	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	新規接客を理解し企画や広報を考えることができる				
学習目標 (到達目標)	初回来館から成約までの流れを理解し、アイスブレイクや自分なりのセールストークができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	新規接客時の一連の流れを理解する。		実務		
3.4.5	新規接客の重要性を理解する。		実務		
6.7	<会場案内> 魅力的で効果的な会場の見せ方・話し方について考え、自分なりのセールストークができる。		実務		
8.9	<見積もり作成> サービス料の定義を理解する。消費税・サービス料の計算ができる。		実務		
10.11	<仮予約> 仮予約を確実に獲得するための対策を考える。		実務		
12.13	<申込手続き> 申込手続き時伝えるべきこと、今後の打合せスケジュールを理解する。		演習		
14.15	<申込手続き> ロープレを通し、15の手続き内容を順序よく説明できる。		演習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			重要ポイントを理解すること。自分で考え意見を述べること。		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	接客術				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択(ウエディングコース)	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	1、会場やドレスを選ぶ際の印象のよい発声方法、会場をドレスをより魅力的に見せるための言葉を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	会場・ドレスを魅力的に説明できる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	発声、清舌トレーニング、「されて嬉しい・不快な接客」について 7つの接客応対用語		プリント		
3.4	美しく、正しい接客のフレーズ 相槌のレパートリーを増やす		プリント		
5.6	会場ドレスの接客用語ピックアップ		筆記用具		
7.8	装飾語をつけて、文章作成		筆記用具		
9.10	グループを組んでロールプレイング		レポート用紙		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技70%、出欠席10%、授業態度20%			聞く力、話す力を身につけ、「借りたくなる」接客術を修得する		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	テーマウェディングディスプレイ				
担当教員	伊波 華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択(ウェディングコース)	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1、新郎新婦が希望するテーマにそって、ディスプレイを提案、実践する				
学習目標 (到達目標)	チームを組んで、ディスプレイを完成させる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント、資材				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	テーマウェディングを提案する	動画にてテーマウェディング説明			
2		デザイン画かく			
3	資材発注	分担し資材発注			
4					
5					
6	ディスプレイ開始	かざりつけ			
7					
8					
9					
10	ディスプレイ完成	かざりつけ			
11					
12					
13					
14	テーマウェディングを提案する	動画にてテーマウェディング説明			
15		デザイン画かく			
16	資材発注	分担し資材発注			
17					
18					
19	ディスプレイ開始	かざりつけ			
20					
21					
22					
23	ディスプレイ完成	かざりつけ			
24					
25					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実技70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		ディスプレイを通じて今の流行のウェディングを知り、新郎新婦の希望をカタチにしましょう。			
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナー、アテンダー、ドレススタイリストとして現場に12年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ブライズサポート			
担当教員	伊波 華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択(ウェディングコース)	単位数		時間数	6
授業概要、目的、授業の進め方	1、花嫁に当日の歩き方のアドバイスができる、当日のサポートができる				
学習目標 (到達目標)	当日の花嫁に安心して過ごしてもらう				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2	ドレスを着た時の基本の立ち方、歩き方、ブーケの持ち方	ドレスを着てウォーキング			
3.4	ドレスを着てブーケを持って歩く、立ち居振る舞い				
5.6	花嫁に説明をする				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実技70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		歩かせ方、誘導の仕方を通して、当日の花嫁の気持ちを感じ取れる力を身につけましょう。			
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナー、アテンダー、ドレススタイリストとして現場に12年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダルファッション				
担当教員	大貫未貴	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択(ウエディングコース)	単位数		時間数	23
授業概要、目的、授業の進め方	1. ウェディングスタッフに必要な技術と知識の修得				
学習目標 (到達目標)	1、ドレスをきれいにフィッティングすることができる 2、専門用語を使ってわかりやすく接客ができる 3、今後のブライダル業界を考え、提案することができる 4、ウェディングスタッフに相応しい、身だしなみ、心配りができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本ウエディングスタイリスト協会発行WEDDING FASHION				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2.3	ウエディングの接客・インナー採寸				
4～7	日本のウエディングファッションの知識・ドレス着せ付け		ドレスフィッティング実習		
8～10	ウエディングスタイリストの業務と必要なスキル・ロールプレイ		ディスカッション		
11.12	フォーマルウェアの知識				
13～16	日本のウエディングファッションの知識・和装着せ付け		和装フィッティング実習		
17.18	日本のウエディングファッションの知識・インナーの必要性 縫製技術				
19.2	洋装フィッティングテクニック（新婦）		ドレスフィッティング実習		
21	認定テスト勉強				
22.23	認定テスト本番・返却				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験35% 出欠席10% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかをディスカッションを通じて、理解したうえで、実技修得に務めてください。 また技だけではなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかいなども評価対象になります。		
実務経験教員の経歴	レストランサービスを2年、ドレススタイリスト4年経験				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	フラワーアレンジメント				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択(ウエディングコース)	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ドレススタイリストとして、ブーケがアドバンスできるようになる。 2、フラワーは実技指導中心				
学習目標 (到達目標)	ドレスとブーケのトータルコーディネートができる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	SNS				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2	デザインの分類、フレームデザイン	特になし			
3.4	アートフラワーの使い方、ヘッドドレス	アートフラワー			
5.6	ドレスとブーケのコーディネート、ガーベラのクラッチ&アームブーケ	生花			
7.8	花かんむり①	アートフラワー			
9.10	クラシックな生花、カスケードブーケ	生花			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
作品70%、出欠席10%、授業態度20%		ものを作るだけでなく、ワイヤリング方法やテープなどの処理方法も共に学びましょう。			
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務。				

科目名		ウェディングフォト			
担当教員	伊波 華奈	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	前期・後期
必修・選択	選択(ウェディングコース)	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1.ウェディングスタッフとして、フォトを知ることで、フォトウェディングの提案ができる 2.現役カメラマンの実技指導				
学習目標 (到達目標)	JWSA認定ウェディングフォト修了				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	JWSA認定WEDDING PHOTO				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	フォトウェディングとは	パワーポイント			
2					
3	カメラの知識	パワーポイント			
4					
5	ウェディングスタッフが知るべきこと	パワーポイント			
6					
7	今のフォトウェディング	パワーポイント			
8					
9	SNSで映える写真の撮り方	カメラ・携帯撮影			
10					
11	フォトウェディング撮影会	屋外に出での学習			
12					
13					
14					
15					
16					
17	振り返り	パワーポイント			
18					
19	自分で撮影した写真の課題提出	パワーポイント			
20					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
作品70%、出欠席10%、授業態度20%		技術も大事ですが、物を修理して大切に扱う気持ちも学びましょう。			
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナー、アテンダー、ドレススタイリストとして現場に12年間携わった。				

科目名	スタイリストヘアメイク				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択(ウエディングコース)	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1、ドレスフィッティングの際に簡単にヘアアレンジができる 2、ウエディングプランナー・ドレススタイリストとして、美容室の動きがわかる				
学習目標 (到達目標)	JWSA認定ウエディングビューティ修了				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	JWSA認定WEDDING BEAUTY				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ヘアアレンジの基本		ヘアメイク道具		
3.4	簡単ヘアアレンジ				
5.6	ドレスに合わせて提案する場合のヘッドドレス		↓		
7.8	婚礼美容の接客		テキスト		
9.10	ウエディングスタイリストの業務と必要なスキル				
11.12	浴衣のナチュラルメイク				
13.14	新婦のお支度（洋装）				
15.16	洋装花嫁デモ				
17.18	新婦のお支度（和装）				
19.20	新婦のお支度（和装）				
21.22	洋装支度に挑戦				
23.24	ビューティアーアテンド練習				
25.00	実技、筆記テスト		↓		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
作品70%、出欠席10%、授業態度20%					
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			プランナー、スタイリストとヘアメイクさんの間わりを学ぶでしょう		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースⅡ（リアルウェディング）				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択(ウェディングコース)	単位数		時間数	125
授業概要、目的、 授業の進め方	1、役割を責任をもって全うする 2、全員がウェディングプランナーとしての意識を持ち行動する 3、感動を提供し、自分も感動できるくらい頑張る 4、自分の目標を意識して行動する				
学習目標 (到達目標)	イベントを成功させ、自身の目標も達成する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～4	リアルウェディング説明、役割説明、過去のムービー鑑賞	グループワーク、プリント			
5～8	新郎新婦の発表と役割決め				
9～12	スケジュール説明と各自作業進める				
13～16	ヒアリングシートとプランニングシートの内容検討				
17～20	初回打ち合わせ				
21～24	テーマ、テーマカラーの検討、デッサン書き始め				
25～28	式次第検討、シート作成				
29～35	再度式次第検討、シート作成				
36～41	パンフレットの作成、2回目の打ち合わせ段取り、台本作成、 BGMリストアップ、カクテルの作成、会場装飾作成				
42～47	当日の動きを想定した練習		実習		
48～55	当日の動きを想定した練習				
56～62	当日の動きを想定した練習				
63～68	当日の動きを想定した練習				
69～96	雨天バージョンを考える・リスクを考える・持参物を表にする、 買い出し、制作物の最終確認				
96～101	リハーサルとチェック、修正				
102～107	リハーサルとチェック、修正				
108～113	ウェディング前日 リハーサル				
114～119	ウェディング当日、片付け				
120～125	片付け・振り返り				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率70%、授業態度30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。		バンケットキャプテンを認識して実習に臨むこと。積極的に取り 組むこと。職業を意識した身だしなみを心がけること。			
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナーとして6年間勤務				

科目名	イベントプロデュース II (ドレスショー)				
担当教員	伊波 華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択(ウェディングコース)	単位数		時間数	80
授業概要、目的、授業の進め方	1、フィッティング技術、裁縫技術、コーディネート力、表現力、チームワークなど実践的に身につける 2、パーティー演出を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	1、ウェディングパーティーで高校生を楽しませ、学校に興味をもってもらう				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	企画・クラス発表		各グループで考える⇒教員チェック		
3.4	コンペ				
5.6	担当割				
7.8	パーティー装飾を考える				
9.10	パーティー装飾を考える				
11.12	パーティー装飾を考える				
13.14	パーティー装飾を考える				
15.16	パーティー装飾を考える				
17.18	パーティー装飾を考える				
19.20	パーティー装飾を考える				
21.22	パーティー装飾を考える				
23.24	パーティー装飾を考える				
25.26	パーティー装飾を考える				
27~30	パーティー装飾を考える				
31~34	リハーサル				
35~38	リハーサル				
39~42	リハーサル				
43~74	リハーサル				
75~78	本番				
79.80	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験25% フォーマル検定10% 出欠席10%			実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかを ディスカッションを通じて、理解したうえで、実技修得に務めて ください。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。			また技だけではなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかい なども評価対象になります。		
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナー、アテンダー、ドレススタイリストとして現場に12年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ウエディングコンサルティングセールス				
担当教員	伊波 華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択(ウエディングコース)	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1,営業意識を持たせ、コミュニケーション能力、表現力を実践的に学ぶ 2,ロールプレイングで実施				
学習目標 (到達目標)	ロールプレイングコンテスト実施				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	新規接客とは		パワーポイント		
3.4	言葉の選び方		パワーポイント		
5.6	ビジュアルツールについて		パソコン		
7.8	アレンジ方法		パソコン		
9.10	案内・誘導の仕方		パワーポイント		
11.12	ゲストの設定を考える				
13.14	接客デモンストレーション				
15.16	ロールプレイング練習				
17.18	リハーサル				
19~25	本番				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験25% フォーマル検定10% 出欠席10% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかをディスカッションを通じて、理解したうえで、実技修得に務めてください。 また技だけではなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかいなども評価対象になります。		
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナー、アテンダー、ドレススタイリストとして現場に12年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ウエディング集客イベント企画				
担当教員	伊波 華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期・後期
必修・選択	選択(ウエディングコース)	単位数		時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	1、営業力、コーディネート力、表現力、チームワークなど実践的に身につける 2、集客イベントの企画				
学習目標 (到達目標)	1、集客イベントを企画することで、営業力と今のトレンドを知る				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2	集客とは	パワーポイント			
3.4	チーム編成	パワーポイント			
5～8	企業研究	パワーポイント			
9～12	企業研究、アポとり	パワーポイント			
13.14	振り返り	パワーポイント			
15～20	市場調査	パワーポイント			
21.22	調査結果発表	パワーポイント			
23.24	マーケティングを学ぶ	パワーポイント			
25.26	集客方法を学ぶ	パワーポイント			
27～34	集客イベント企画	パワーポイント			
35.36	チェック	パワーポイント			
37～44	集客イベント企画	パワーポイント			
45～48	予選	パワーポイント			
49～54	手直し	パワーポイント			
55～58	本選	パワーポイント			
59.60	振り返り	パワーポイント			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験30%、レポート25%、実技試験25% フォーマル検定10% 出欠席10% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		ひとりよがりにならないこと。 集客の理論、方法を学び、経営の観点からウエディングを考えることができるようになる。			
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナー、アテンダー、ドレススタイリストとして現場に12年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザインⅡ				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	90
授業概要、目的、授業の進め方	社会人になる前の心と体の準備を行う。自身の将来を考え、企業でどのように活躍していきたいかなど考える。目標を立て、そこに向かって学生時代に行うことができることを精一杯行う。				
学習目標 (到達目標)	最終学年としての自覚を持ち、社会人としての人材育成を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スクールライフアンケート、その他プリントなど				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～5	学校生活のルールを改めて理解する。新しいクラスの友人とコミュニケーションを図る、就職活動	面談、自習			
6～10	就職活動の進捗状況を担任と確認する 内定者は、次の目標について考える	面談、自習			
11～15	自分を理解し、今後のキャリアデザインを考える	面談、自習			
16～20	1年生との交流を図る。	ディスカッション			
21～25	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める				
26～30	様々なイベントをお互いに見学しあい、刺激しあう。 それを自身のイベントに活かす。	レポート			
31～35	卒業制作に向けての準備を行う	ディスカッション			
36～40	前期を振り返る。最後の学生生活であることを意識する。	レポート			
41～50	後期の動機付け、後期目標設定、シート記入	プリント			
51～60	卒業までの残りを実感し、何をすべきか考える	ディスカッション、レポート			
61～70	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める	ディスカッション			
71～75	年明けのスケジュール確認	プリント			
76～83	クラス交流、1、2年生交流会、座談会	ディスカッション			
84～90	修了式、学生生活の振り返り、まとめ				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率50%、授業態度10%、学科テスト40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		重要ポイントのライン引きをしっかりと学習して暗記すること。 検定の出題傾向について理解すること。			
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

科目名	ビジネス実務Ⅱ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	一度学習したテキストを中心に文書の書き方を繰り返し学習する。PCを使って、実際の社内文書、社外文書、メール文書等を仕上げている。新たに、即戦力として役に立つ日常ビジネスマナーを身に付ける。				
学習目標 (到達目標)	敬語、ビジネス用語と漢字、基礎ビジネス文書に加えて、電話応対、来客応対をロールプレイをしながら一人で判断して対応できるレベルにする。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	実践ビジネスマナー				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	ガイド 第1章 表記技能/実践ビジネスマナー	電話応対	漢字、書式のテキスト内の問題を解く/ロールプレイ		
3・4	ガイド 第1章 表記技能/実践ビジネスマナー	電話応対	漢字、書式のテキスト内の問題を解く/ロールプレイ		
5・6	ガイド 第2章 表現技能/実践ビジネスマナー	電話応対	正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
7・8	ガイド 第2章 表現技能/実践ビジネスマナー	来客応対・敬語	正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
9・10	ガイド 第3章 実務技能/実践ビジネスマナー	名刺の受け渡し	社外文書の例を探す/ロールプレイ		
11・12	ガイド 第3章 実務技能/実践ビジネスマナー	テスト練習	社外文書の例を探す/ロールプレイ		
13・14	期末テスト				
15	振り返り				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
試験結果50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。			
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅱ				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 実践行動学Ⅰで学習した内容を踏まえ、1年間の振り返りを行う 2. 働くことへの意識を気づき→認識→一般化→応用という手法をとり入れ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	社会人へでの準備→2年後の目標・ライフプランへと段階を経て、将来の自分を具現化させる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パート3 マジックドア1 入学から今日までの成長を実感する		個人作業・グループディスカッション		
2	パート3 マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう		個人作業・グループディスカッション		
3	パート3 マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは		個人作業・グループディスカッション		
4	パート3 マジックドア4 将来を描いてみよう		個人作業・グループディスカッション		
5	パート3 マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう		個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、授業態度10%、学科テスト40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			重要ポイントのライン引きをしっかりと学習して暗記すること。 検定の出題傾向について理解すること。		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

科目名		ホスピタリエ			
担当教員	高橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	ナレッジツリーのしくみを理解し、日常生活の中で知識教養が自然に身につけていく生活習慣をつくる ホスピタリティ産業の中で、ホスピタリティがどのように活用され、あるいは活用されていないかを知り、実際のビジネスの現場について学びながら、自然にセカンドステップが予想できるようにトレーニングする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ホスピタリエが学ぶホスピタリティ		パワーポイント		
2	ホスピタリエとしてのホスピタリエの自己紹介		パワーポイント		
3	ホスピタリエの共感と同感の再確認と共感力コミュニケーション		パワーポイント		
4	知識を深めるナレッジツリー		パワーポイント		
5	ホスピタリエの教養講座①		パワーポイント		
6	ホスピタリエの教養講座②		パワーポイント		
7	ホスピタリエの教養講座③		パワーポイント		
8	ホスピタリエの教養講座④		パワーポイント		
9	ホスピタリエの教養講座⑤		パワーポイント		
10	ホスピタリエの教養講座⑥		パワーポイント		
11	ホスピタリエの共感レポート		パワーポイント		
12	自分のイヤ 自分以外の人のイヤ		パワーポイント		
13	料飲ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
14	ホテルビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
15	ウエディングビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
16	フューネラルビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
17	医療ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
18	航空ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
19	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業		パワーポイント		
20	ホスピタリエの共感レポート		パワーポイント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅲ				
担当教員	竹内正明		実務授業の有無	×	
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	データ入力、表計算、グラフ作成、データベース検索のスキルを学び、EXCEL検定初級を受検する。				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ エクセル文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ EXCEL 2021クイックマスター基本編 エクセル文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～3	エクセルの基本 データの編集 表の編集		実習		
4～6	ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理		実習		
7～9	関数 データベース機能		実習		
10～12	練習問題 1		実習		
13～15	練習問題 2 3		実習		
16～18	模擬問題 1 2		実習		
19～21	模擬問題 3 4		実習		
22～24	模擬問題 5 6		実習		
25・26	模擬問題 7 苦手箇所の練習		実習		
27～33	サンプル問題 事前対策		実習		
34・35	エクセル検定3級受検		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			復習をメインに模擬問題を確実にものにすることで、検定合格に結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。		
実務経験教員の経歴					

科目名	日常英会話 II				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています。毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。</p>				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	オリエンテーション Unit1		スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト		
3	Unit1 Lesson5 トレーニング1・2・4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング1・2・4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング1・2・4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング1・2・4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング1・2・4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング1・2・4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング1・2・4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング1・2・4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング1・2・4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング1・2・4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング1・2・4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング1・2・4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング1・2・4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング1・2・4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング1・2・4				
22	Unit16 Lesson80 トレーニング1・2・4				
23	テスト練習				
24	テスト				
25	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度40% 試験60% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			アプリを中心に学び、単語テストも適宜行う。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

科目名	卒業制作				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	卒年次生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	100
授業概要、目的、授業の進め方	業界が持つ、課題等を見つけ、それに対する企画を考え、提案していく。 イベントを通して、学年全体のつながりや、プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につけ、イベントを実施する				
学習目標 (到達目標)	卒業制作発表会で、保護者や企業に発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	動機付け、発表の内容、スケジュールについて		プリント		
3.4	グループにてスケジュール確認、発表内容と報告書の作成		プリント		
7～10	企業や団体などをリストアップし、現状や取り組みについてのアンケートや調査を行う		グループワーク		
11～14	スケジュールや進め方（新グループ、メンバー）を全体で共有する				
15～18	各グループは報告書完成させる。当日の会場装飾の準備を始める 実行委員は招待客のリストを作成する				
19～22	当日の発表に必要な台本+パワポを作成する				
23～26	当日の会場で、本番のイメージをつかむ				
27～30	台本+パワポの修正。完成。				
31～36	台本見ながら全体リハーサルを行い、他のグループ発表を聞いて、卒制全体のイメージをつかむ				
37～42	全体リハーサルの準備を始める（台本とパワポのタイミングを合わせる）				
43～48	企業の方に企画や発表を見ていただき、内容をより精査する 全体リハーサルの準備を行う（前後のつながりを考える）				
49～65	全体リハーサルを行い、卒制全体の流れを一人ひとりがつかむ				
66～71	全体リハーサルの準備を行う（聞いている人に伝わる話し方を意識しよう）				
72～77	全体リハーサル→振り返り、修正				
78～83	前日リハーサル→振り返り、修正				
84～93	企業、保護者本番				
94～100	振り返り（個人シート、グループ、実行委員他）		▼		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70%、授業態度30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			積極的に取り組むこと。受け身ではなく、自分の考えを発信すること。 職業を意識した身だしなみを心がけること。		
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナーとして6年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ブライダル総論Ⅱ			
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択(ウェディングコース)	単位数		時間数	65
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ブライダル・コーディネーター技能検定について理解する 2、日本と欧米の結婚式について歴史と文化を理解する 3、ブライダルビジネスについて理解する 4、ブライダルの基礎的知識について理解する				
学習目標 (到達目標)	検定出題傾向について理解し、暗記する。知識だけではなく、職業観を意識させていく。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～30	過去問題実施と解答解説		テキスト 過去問題テスト実施、解答解説		
31～40	実技試験対策		テキスト 過去問題テスト実施、解答解説		
41～55	検定勉強		テキストと課題プリント		
56～65	ブライダルコーディネート技能検定本番		受験票		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、授業態度10%、学科テスト40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			重要ポイントのライン引きをしっかりと学習して暗記すること。 検定の出題傾向について理解すること。		
実務経験教員の経歴		ウェディングプランナーとして6年間勤務			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	接客術				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択（ウエディングコース）	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	1、会場やドレスを選ぶ際の印象のよい発声方法、会場をドレスをより魅力的に見せるための言葉を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	会場・ドレスを魅力的に説明できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	発声、滑舌トレーニング、「されて嬉しい・不快な接客」について 7つの接客応対用語		プリント		
3.4	美しく、正しい接客のフレーズ 相槌のレパートリーを増やす		プリント		
5.6	会場ドレスの接客用語ピックアップ		筆記用具		
7.8	装飾語をつけて、文章作成		筆記用具		
9.10	グループを組んでロールプレイング		レポート用紙		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技70%、出欠席10%、授業態度20%			聞く力、話す力を身につけ、「借りたくなる」接客術を修得する		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務。				

科目名	テーマウェディングディスプレイ				
担当教員	伊波 華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択（ウェディングコース）	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1、新郎新婦が希望するテーマにそって、ディスプレイを提案、実践する				
学習目標 (到達目標)	チームを組んで、ディスプレイを完成させる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント、資材				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	テーマウェディングを提案する	動画にてテーマウェディング説明			
2		デザイン画かく			
3	資材発注	分担し資材発注			
4					
5					
6	ディスプレイ開始	かざりつけ			
7					
8					
9					
10	ディスプレイ完成	かざりつけ			
11					
12					
13					
14	テーマウェディングを提案する	動画にてテーマウェディング説明			
15		デザイン画かく			
16	資材発注	分担し資材発注			
17					
18					
19	ディスプレイ開始	かざりつけ			
20					
21					
22					
23	ディスプレイ完成	かざりつけ			
24					
25					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実技70%、出欠席10%、授業態度20%		ディスプレイを通じて今の流行のウェディングを知り、新郎新婦の希望をカタチにしましょう。			
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナー、アテンダー、ドレススタイリストとして現場に12年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライズサポート				
担当教員	伊波 華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択（ウエディングコース）	単位数		時間数	6
授業概要、目的、授業の進め方	1、花嫁に当日の歩き方のアドバイスができる、当日のサポートができる				
学習目標 (到達目標)	当日の花嫁に安心して過ごしてもらう				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2	ドレスを着た時の基本の立ち方、歩き方、ブーケの持ち方	ドレスを着てウォーキング			
3.4	ドレスを着てブーケを持って歩く、立ち居振る舞い				
5.6	花嫁に説明をする				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実技70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		歩かせ方、誘導の仕方を通して、当日の花嫁の気持ちを感じ取れる力を身につけましょう。			
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナー、アテンダー、ドレススタイリストとして現場に12年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダルファッション				
担当教員	大貫未貴	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択（ウエディングコース）	単位数		時間数	23
授業概要、目的、授業の進め方	1. ウエディングスタッフに必要な技術と知識の修得				
学習目標 (到達目標)	1、ドレスをきれいにフィッティングすることができる 2、専門用語を使ってわかりやすく接客ができる 3、今後のブライダル業界を考え、提案することができる 4、ウエディングスタッフに相応しい、身だしなみ、心配りができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本ウエディングスタイリスト協会発行WEDDING FASHION				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2.3	ウエディングの接客・インナー採寸				
4～7	日本のウエディングファッションの知識・ドレス着せ付け		ドレスフィッティング実習		
8～10	ウエディングスタイリストの業務と必要なスキル・ロールプレイ		ディスカッション		
11.12	フォーマルウェアの知識				
13～16	日本のウエディングファッションの知識・和装着せ付け		和装フィッティング実習		
17.18	日本のウエディングファッションの知識・インナーの必要性 縫製技術				
19.2	洋装フィッティングテクニック（新婦）		ドレスフィッティング実習		
21	認定テスト勉強				
22.23	認定テスト本番・返却				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験35% 出欠席10% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかをディスカッションを通じて、理解したうえで、実技修得に努めてください。 また技だけではなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかいなども評価対象になります。		
実務経験教員の経歴	レストランサービスを2年、ドレススタイリスト4年経験				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	sutannya-do				
担当教員	大貫 未貴	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択（ウェディングコース）	単位数		時間数	8
授業概要、目的、 授業の進め方	1. ドレススタイリストになるための技術と知識の修得				
学習目標 (到達目標)	1、ドレスをきれいにフィッティングすることができる 2、専門用語を使ってわかりやすく接客ができる 3、今後のブライダル業界を考え、提案することができる 4、ドレススタイリストに相應しい、身だしなみ、心配りができる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	スタイリストに必要な資質、ドレスルーム片付け・掃除		ドレスショップに見立て、掃除箇所を決定⇒実行		
3.4	ドレスコーディネーターの業務・婚礼衣裳業界		パワーポイント		
5.6	ドレススタイリストの目指すもの		ディスカッション形式		
7.80	実技試験		テスト		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験25% フォーマル検定10% 出欠席10% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。			実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかを ディスカッションを通じて、理解したうえで、実技修得に務め てください。 また技だけではなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかい なども評価対象になります。		
実務経験教員の経歴	レストランサービスを2年、ドレススタイリスト4年経験				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	和装着付けII				
担当教員	伊波 華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択（ウェディングコース）	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	1、人に着物を着付けることができる				
学習目標 (到達目標)	京都きもの学院着物きつけ中級修了				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	京都きもの学院着物きつけ中級、着物一式				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	長襦袢のサイズあわせ、初級の復習		実技		
3.4	ヘアを組んで着せあう、名古屋帯を結ぶ、小テスト12配布		実技、テスト		
5.6	留袖を着せあう（着物のみ）、二重太鼓を結びあう、12解答3配布		実技、テスト		
7.8	留袖を着せあう（着物のみ）、二重太鼓を結びあう、12解答3配布		実技、テスト		
9.10	留袖を着せあう（着物のみ）、二重太鼓を結びあう、3解答4配布		実技、テスト		
11.12	留袖、二重太鼓を結びあう、4解答5配布		実技、テスト		
13.14	留袖、二重太鼓を結びあう、5解答		実技、テスト		
15.16	留袖を着せあう、二重太鼓の変わり結び		実技、テスト		
17.18	中級筆記テスト		テスト		
19.20	留袖を着せあう、検定、実技テスト、筆記テスト		実技、テスト		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			着付けを通じ、礼儀作法を覚える、和装の柄や部位名称など、スタイリストの接客にも役立ちます。		
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナー、アテンダー、ドレススタイリストとして現場に12年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	フラワーアレンジメント				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択(ウエディングコース)	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ドレススタイリストとして、ブーケがアドバスできるようになる。 2、フラワーは実技指導中心				
学習目標 (到達目標)	ドレスとブーケのトータルコーディネートができる				
テキスト・教材・参考図 書・その他資料	SNS				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2	デザインの分類、フレームデザイン	特になし			
3.4	アートフラワーの使い方、ヘッドドレス	アートフラワー			
5.6	ドレスとブーケのコーディネート、ガーベラのクラッチ&アームブーケ	生花			
7.8	花かんむり①	アートフラワー			
9.10	クラシックな生花、キャスケードブーケ	生花			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
作品70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		ものを作るだけでなく、ワイヤリング方法やテープなどの処理方法も共に学びましょう。			
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務。				

科目名	ウェディングフォト				
担当教員	伊波 華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	前期・後期
必修・選択	選択(ウェディングコース)	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ウェディングスタッフとして、フォトを知ることで、フォトウェディングの提案ができる 2.現役カメラマンの実技指導				
学習目標 (到達目標)	JWSA認定ウェディングフォト修了				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	JWSA認定WEDDING PHOTO				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	フォトウェディングとは		パワーポイント		
2					
3	カメラの知識		パワーポイント		
4					
5	ウェディングスタッフが知るべきこと		パワーポイント		
6					
7	今のフォトウェディング		パワーポイント		
8					
9	SNSで映える写真の撮り方		カメラ・携帯撮影		
10					
11	フォトウェディング撮影会		屋外に出での学習		
12					
13					
14					
15					
16					
17	振り返り		パワーポイント		
18					
19	自分で撮影した写真の課題提出		パワーポイント		
20					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
作品70%、出欠席10%、授業態度20%			技術も大事ですが、物を修理して大切に扱う気持ちも学びましょう。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナー、アテンダー、ドレススタイリストとして現場に12年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	裁縫				
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択(ウエディングコース)	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	1、ドレススタイリストとして、ボタン付け、すそ上げ、ドレス修理ができる。 2、小物を作成しながら、ボタン付けなどを修得する				
学習目標 (到達目標)	1、ドレス修理、すそ上げができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	裁縫道具、布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	基礎練習、ピンクッション製作		実技		
3.4	基本技術練習、ボタンつけ、小物製作		実技		
5～7	基本技術練習、ファスナーつけ、小物製作		実技		
8.9	基本技術練習、小物製作(完成)、リングビローデザイン製作開始		実技		
10～13	リングビローデザイン製作		実技		
14.15	リングビロー完成、基本技術テスト・確認		実技		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
作品70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			技術も大事ですが、物を修理して大切に扱う気持ちも学びましょう。		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務。				

科目名		スタイリストヘアメイク			
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択(ウェディングコース)	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1、ドレスフィッティングの際に簡単にヘアアレンジができる 2、ウェディングプランナー・ドレススタイリストとして、美容室の動きがわかる				
学習目標 (到達目標)	JWSA認定ウェディングビューティ修了				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	JWSA認定WEDDING BEAUTY				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2	ヘアアレンジの基本	ヘアメイク道具 ↓			
3.4	簡単ヘアアレンジ				
5.6	ドレスに合わせて提案する場合のヘッドドレス				
7.8	婚礼美容の接客	テキスト			
9.10	ウェディングスタイリストの業務と必要なスキル				
11.12	浴衣のナチュラルメイク				
13.14	新婦のお支度(洋装)				
15.16	洋装花嫁デモ				
17.18	新婦のお支度(和装)				
19.20	新婦のお支度(和装)				
21.22	洋装支度に挑戦				
23.24	ビューティーアテンド練習				
25.00	実技、筆記テスト	↓			
評価方法・成績評価基準					
作品70%、出席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		プランナー、スタイリストとヘアメイクさんとの関わりを学ばせよう			
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナーとして6年間勤務。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		イベントプロデュースⅡ（リアルウエディング）			
担当教員	古田 千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択(ウエディングコース)	単位数		時間数	125
授業概要、目的、 授業の進め方	1、役割を責任をもって全うする 2、全員がウエディングプランナーとしての意識を持ち行動する 3、感動を提供し、自分も感動できるくらい頑張る 4、自分の目標を意識して行動する				
学習目標 (到達目標)	イベントを成功させ、自身の目標も達成する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～4	リアルウエディング説明、役割説明、過去のムービー鑑賞	グループワーク、プリント			
5～8	新郎新婦の発表と役割決め				
9～12	スケジュール説明と各自作業進める				
13～16	ヒアリングシートとプランニングシートの内容検討				
17～20	初回打ち合わせ				
21～24	テーマ、テーマカラーの検討、デッサン画書き始め				
25～28	式次第検討、シート作成				
29～35	再度式次第検討、シート作成				
36～41	パンフレットの作成、2回目の打ち合わせ段取り、台本作成、 BGMリストアップ、カクテルの作成、会場装飾作成	▼			
42～47	当日の動きを想定した練習	実習			
48～55	当日の動きを想定した練習				
56～62	当日の動きを想定した練習				
63～68	当日の動きを想定した練習				
69～96	雨天バージョンを考える・リスクを考える・持参物を表にする、 買い出し、制作物の最終確認				
96～101	リハーサルとチェック、修正				
102～107	リハーサルとチェック、修正				
108～113	ウエディング前日 リハーサル				
114～119	ウエディング当日、片付け				
120～125	片付け・振り返り	▼			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率70%、授業態度30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。		バンケットキャプテンを認識して実習に臨むこと。積極的に取り 組むこと。職業を意識した身だしなみを心がけること。			
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

科目名	イベントプロデュース II (ドレスショー)				
担当教員	伊波 華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択(ウエディングコース)	単位数		時間数	80
授業概要、目的、授業の進め方	1、フィッティング技術、裁縫技術、コーディネート力、表現力、チームワークなど実践的に身につける 2、パーティー演出を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	1、ドレスショーで高校生を楽しませ、学校に興味をもってもらう				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	企画・クラス発表		各グループで考える⇒教員チェック		
3.4	コンペ				
5.6	担当割				
7.8	パーティー装飾を考える				
9.10	パーティー装飾を考える				
11.12	パーティー装飾を考える				
13.14	パーティー装飾を考える				
15.16	パーティー装飾を考える				
17.18	パーティー装飾を考える				
19.20	パーティー装飾を考える				
21.22	パーティー装飾を考える				
23.24	パーティー装飾を考える				
25.26	パーティー装飾を考える				
27~30	パーティー装飾を考える				
31~34	リハーサル				
35~38	リハーサル				
39~42	リハーサル				
43~74	リハーサル				
75~78	本番				
79.80	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験25% フォーマル検定10% 出欠席10% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかをディスカッションを通じて、理解したうえで、実技修得に務めてください。 また技だけでなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかいなども評価対象になります。		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナー、アテンダー、ドレススタイリストとして現場に12年間携わった。				

科目名	ウエディングコンサルティングセールス				
担当教員	伊波華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択(ウエディングコース)	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1,営業意識を持たせ、コミュニケーション能力、表現力を実践的に学ぶ 2,ロールプレイングで実施				
学習目標 (到達目標)	ロールプレイングコンテスト実施				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	新規接客とは		パワーポイント		
3.4	言葉の選び方		パワーポイント		
5.6	ビジュアルツールについて		パソコン		
7.8	アレンジ方法		パソコン		
9.10	案内・誘導の仕方		パワーポイント		
11.12	ゲストの設定を考える				
13.14	接客デモンストレーション				
15.16	ロールプレイング練習				
17.18	リハーサル				
19~25	本番		↓		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験25% フォーマル検定10% 出欠席10% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかをディスカッションを通じて、理解したうえで、実技修得に務めてください。 また技だけではなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかいなども評価対象になります。		
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナー、アテンダー、ドレススタイリストとして現場に12年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ウエディング集客イベント企画				
担当教員	伊波 華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期・後期
必修・選択	選択(ウエディングコース)	単位数		時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	1、営業力、コーディネート力、表現力、チームワークなど実践的に身につける 2、集客イベントの企画				
学習目標 (到達目標)	1、集客イベントを企画することで、営業力と今のトレンドを知る				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	集客とは		パワーポイント		
3.4	チーム編成		パワーポイント		
5～8	企業研究		パワーポイント		
9～12	企業研究、アボとり		パワーポイント		
13.14	振り返り		パワーポイント		
15～20	市場調査		パワーポイント		
21.22	調査結果発表		パワーポイント		
23.24	マーケティングを学ぶ		パワーポイント		
25.26	集客方法を学ぶ		パワーポイント		
27～34	集客イベント企画		パワーポイント		
35.36	チェック		パワーポイント		
37～44	集客イベント企画		パワーポイント		
45～48	予選		パワーポイント		
49～54	手直し		パワーポイント		
55～58	本選		パワーポイント		
59.60	振り返り		パワーポイント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験25% フォーマル検定10% 出欠席10% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ひとりよがりにならないこと。 集客の理論、方法を学び、経営の観点からウエディングを考えることができるようになる。		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナー、アテンダー、ドレススタイリストとして現場に12年間携わった。				

科目名	キャリアデザインⅠ				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	190
授業概要、目的、 授業の進め方	wishの学生として学校生活を送るためのルールを知る 学校生活の不安を解消し、やる気と自信を生む 仲間づくりを通じて、コミュニケーション力を高めるワークを行う 就活に伴う企業研究の時間にする				
学習目標 (到達目標)	学校生活でのルールを知り、社会人となる人材育成を行う。 就職対策として企業について知る、自己を分析し知る。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	ライフデザインナビ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	オリエンテーション (学校を知る・スケジュールを知る・学校の規律を学ぶ)		手引き		
11～20	パソコンの設定・使い方指導		パソコン演習		
21～30	学年交流、クラス交流		グループディスカッション		
31～40	ゴールデンウィークの課題確認・時間割、テキスト説明・クラス交流		グループディスカッション		
41～50	クラスホームルーム、コミュニケーションタイム		グループディスカッション		
51～60	クラスインフォメーション、ディスカッション、履歴書書き		グループディスカッション		
61～65	グループディスカッション、クラスホームルーム、		グループディスカッション		
66～70	1、2年生交流会		グループディスカッション		
71～80	夏休み前のインフォメーション、大掃除		プリント		
81～85	1、2年生交流会		グループディスカッション		
86～90	夏休み前のインフォメーション、大掃除		プリント		
91～95	クラスホームルーム、修了式		プリント		
96～100	卒業生座談会、クラスホームルーム		レポート		
101～110	自己PR、3stepシート作成		3stepシート		
111～120	国内研修旅行、レポート書き		レポート		
120～130	マイナビエントリーシート書き、クラス交流		エントリーシート		
131～140	卒業制作見学、感想レポート書き		レポート		
141～150	課外授業、ブレ求職登録面接		レポート		
151～160	ブレ求職登録面接、課外授業		レポート		
161～170	ブレ求職登録面接、課外授業、修了式、大掃除		レポート		
171～180	就活企業研究、求職登録面接		パソコン		
181～190	就活企業研究、求職登録面接、クラスホームルーム		パソコン		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出席率 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			学年全体、クラス全体へのインフォメーションの場合なので、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。		
実務経験教員の経歴	ホテル(宿泊部門、料飲部門)にて計7年間勤務した。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	就職対策				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	70
授業概要、目的、 授業の進め方	就職活動の流れや必要な事柄について理解し、個人で準備ができるように指導する 1. 就職活動の流れ 2. 自己分析 3. 企業研究 4. 書類・面接について				
学習目標 (到達目標)	自分の人生スケジュールを考えながら、就職活動に向かうことができる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	勝つための就職ガイド Success				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	就職活動の心構え 就職活動の流れ		テキスト P.6～		
3 4	履歴書・エントリーシートの書き方		テキスト P.14～		
5～8	動画履歴書作成		テキスト P.18～		
9 10	自己分析 自分自身を知る		テキスト P.27～		
11 12	職業を知る 自己分析				
13～18	論理的文章の書き方・考え方				
19 20	情報収集・企業研究				
21～23	情報収集のポイント		テキスト P.36～		
24～30	面接指導 自己分析 自己PR		テキスト P.52～		
31～35	面接練習 ・ 企業研究 ・ サイトの活用		テキスト P.66～		
36～50	就職研修 履歴書の写真撮影など				
51～55	研修振り返り・企業研究				
55～60	就職研修(1月)・求職登録面接				
61～70	就職研修(2月)・求職登録面接				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名	ビジネス実務Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	テキストを中心に文書の書き方を繰り返し学習する。PCを使って、実際の社内文書、社外文書、メール文書等を仕上げていく				
学習目標 (到達目標)	敬語、ビジネス用語と漢字、基礎ビジネス文書が書ける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践ビジネスマナー				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	ガイド 第1章 表記技能		漢字、書式のテキスト内の問題を解く		
5～9	ガイド 第2章 表現技能		正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
10～13	ガイド 第3章 実務技能		社外文書の例を探す／ロールプレイ		
12～15	過去問題、PCを使って文章を作成する				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
試験結果50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		専門用語やビジネスシーンで使う単語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。			
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅰ				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	意欲的な心構え・自分自身の可能性を導き出す為の為に、体験→気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	半年毎の目標を設定させ、目標の実現を目指す為の思考力を学ぶ				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パート1 マジックドア1 夢と目標		個人作業・グループディスカッション		
2	パート1 マジックドア2 間違っただ思い込みと言いつ		個人作業・グループディスカッション		
3,4	パート1 マジックドア3 自分への信頼を取り戻すために①		個人作業・グループディスカッション		
5,6	パート1 マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために②		個人作業・グループディスカッション		
7	パート1 マジックドア5 目標を設定しよう		個人作業・グループディスカッション		
8	パート2 マジックドア1 プラス思考が能力・可能性を広げる		個人作業・グループディスカッション		
9、10	パート2 マジックドア2 考え方を変えれば行動が変わる		個人作業・グループディスカッション		
11、12	パート2 マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決する		個人作業・グループディスカッション		
13,14	パート2 マジックドア4 コミュニケーションスタイルを見直そう		個人作業・グループディスカッション		
15	パート2 マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる		個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			明確な目標設定を行なわせ、常に向上心を持たせられるよう留意する。		
実務経験教員の経歴	ホテル(宿泊部門、料飲部門)にて計7年間勤務した。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		コミュニケーション			
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1.社会においてコミュニケーションの大切さを知る 2.あらゆる場面で、よりスムーズなコミュニケーションをとるための技術を身につける				
学習目標 (到達目標)	コミュニケーション検定初級の取得を目指す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウイネット発行 コミュニケーション技法・コミュニケーション検定初級 公式ガイドブック & 問題集				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1・2	・検定詳細、動機付け、授業の進め方 ・行動をチェックする ・コミュニケーションの定義	講義 (コミュニケーション技法テキスト使用)			
3・4	・コミュニケーションの基本を身に着けよう	講義・チェック問題 (公式ガイドブック使用)			
5・6	・話すときの心構えを理解しよう	講義・チェック問題 (公式ガイドブック使用)			
7・8	・効果的な話し方を身に着けよう	講義・チェック問題 (公式ガイドブック使用)			
9・10	・きれいな発声・発音を身に着けよう	講義・チェック問題 (公式ガイドブック使用)			
11・12	・正しい日本語を身に着けよう	講義・チェック問題 (公式ガイドブック使用)			
13・14	・効果的な表現力を身に着けよう	講義・チェック問題 (公式ガイドブック使用)			
15・16	・聞くことの重要性	講義・チェック問題 (公式ガイドブック使用)			
17・18	・各種コミュニケーション場面とポイント	問題演習・解答解説 (公式ガイドブック使用)			
19・20	過去問題1	問題演習・解答解説 (公式ガイドブック使用)			
21・22	過去問題2	問題演習・解答解説			
23・24	過去問題3 (マークシートを使って)	問題演習・解答解説			
25・26	過去問題4 (マークシートを使って)	問題演習・解答解説			
27・28	過去問題5 (マークシートを使って)	問題演習・解答解説			
29・30	検定本番、振り返り	問題演習・解答解説			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
過去問題テスト80%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全員合格を目指すために、復習に力を入れる 分からない部分は友達同士で共有・解決できる環境を作る			
実務経験教員の経歴	ホテル(宿泊部門、料飲部門)にて計7年間勤務した。				

科目名		ホスピタリエ			
担当教員	高橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1.ホスピタリエ資格取得をし、ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	日常生活の中にホスピタリエの視点を自然にとりいれられるようにする。 社会の課題をホスピタリティの視点で見つめ、自分の考えを持つ思考習慣を身に着ける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～5	ホスピタリエ認定講座	パワーポイント・テキスト			
6	ホスピタリエが学ぶホスピタリティ	パワーポイント			
7	ごきげんなホスピタリエになるために必要な5つの資質	パワーポイント			
8	ホスピタリエのコミュニケーション習慣	パワーポイント			
9	ホスピタリエの共感力を磨こう！	パワーポイント			
10	ホスピタリエが家族に一番近い他人になるために	パワーポイント			
11	ホスピタリエのホスピタリエ紹介	パワーポイント			
12	ホスピタリエの学校生活とファーストステップ	パワーポイント			
13	起きてから寝るまでのファーストステップ	パワーポイント			
14	ホスピタリエの5つの資質の再チェック	パワーポイント			
15	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
16	自分のイヤ 自分以外のイヤ	パワーポイント			
17	料飲ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
18	ホテルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
19	ウェディングビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
20	フューネラルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
21	医療ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
22	航空ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
23	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業	パワーポイント			
24	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
25	学校生活の中でホスピタリエの学びが役立った事例レポート	パワーポイント			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。			
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅰ				
担当教員	竹内正明	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	40
授業概要、目的、 授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要パソコンスキルを学び、word検定に合格する				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ ワード文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図 書・その他資料	サーティファイ WORD2021クイックマスター基本編 ワード文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	Wordの基本		実習		
3・4	文字の入力と編集の基本操作		実習		
5・6	文書の編集		実習		
7・8	文書の印刷		実習		
9・10	文書の作成		実習		
11・12	表を使った文書の作成				
13・14	図形や画像を使った文書の作成		実習		
15・16	検定対策 問題集 練習問題 1		実習		
17・18	検定対策 問題集 練習問題 2		実習		
19・20	検定対策 問題集 練習問題 3		実習		
21・22	検定対策 問題集 模擬問題 1		実習		
23・24	検定対策 問題集 模擬問題 2		実習		
25・26	検定対策 問題集 模擬問題 3				
27・28	検定対策 問題集 模擬問題 4				
29・30	検定対策 問題集 模擬問題 5				
31・32	検定対策 問題集 模擬問題 6				
33・34	検定対策 問題集 模擬問題 7				
35・36	サンプル問題				
37・38	過去問題 1				
39・40	検定試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			問題集をクリアすることで、検定合格率がアップすることから、学生のモチベーションをキープさせ、必ず終了するように考慮する。		
実務経験教員の経歴					

科目名	日常英会話Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています。毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。</p>				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	オリエンテーション Unit1		スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト		
3	Unit1 Lesson5 トレーニング1・2・4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング1・2・4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング1・2・4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング1・2・4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング1・2・4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング1・2・4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング1・2・4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング1・2・4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング1・2・4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング1・2・4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング1・2・4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング1・2・4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング1・2・4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング1・2・4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング1・2・4				
22	Unit16 Lesson80 トレーニング1・2・4				
23	テスト練習				
24	テスト				
25	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度40% 試験60% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			アプリを中心に学び、単語テストも適宜行う。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	海外研修				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	<p>1、海外の方との交流を通して、異文化を受け入れ、素直で他を尊重する精神を持てる人材になる。</p> <p>2、現地で活躍する業界のプロフェッショナルから、業界の素晴らしさや感動体験を学ぶ。</p>				
学習目標 (到達目標)	日常生活において、他の学生の価値観を尊重できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具、渡航先ガイドブック、インターネット				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～2	オリエンテーション	行程表・注意事項を確認			
3～6	ホテル研修	事前調査が必要			
7～10	ブライダル研修	事前調査が必要			
11～14	葬祭研修	事前調査が必要			
15～18	グループごとに自由行動	研修前にグループ分け、事前調査が必要			
19～20	振り返り	振り返りレポート作成			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率50%、授業姿勢50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		渡航先によって準備が異なります。安全・安心な研修になるよう、十分な事前調査が求められます。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	センスアップセミナー				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	業界に必要なセンスアップを実習をとおして習得する				
学習目標 (到達目標)	印象の良いヘアメイクを15分以内に出来るようになる。正しい姿勢で「歩く 立つ 座る」ができる。正しい発声・発音が出来る。話し方ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウイネット コミュニケーション技法 プリント対応				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	ヘアメイク:おしゃれと身だしなみの違い ヘアスタイル	ヘアメイク実習			
3 4	ヘア仕上がりチェック フルデモンストレーション 眉のみ練習	ヘアメイク実習			
5 6	メイク練習	ヘアメイク実習			
7 8	ヘアメイクを完璧に仕上げる	ヘアメイク実習			
9 10	歩き方:基本姿勢 表情 お辞儀の仕方	テキスト28・29Pを参考にしながら			
11 12	話し方:発声・活舌トレーニング	テキスト38～42p 50～52p			
13	発声・活舌トレーニング 敬語プリント	テキスト53～66p			
14 15	ビジネス会話 美しい日本語のフレーズ	テキスト67～68p			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80% 学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		お客様に見られていることを常に意識できるように学習を重ねること。			
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

科目名	イベントプロデュースⅠ				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	125
授業概要、目的、授業の進め方	今まで学習した成果の発表をチーム分かれて制作し、7/1の保護者イベントにてアテンド、保護者に向けての発表をする				
学習目標 (到達目標)	保護者へのアテンド、進級制作の成功 自分たち自身の成長を実感する 自分たちで立てた目標を達成する				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	進級制作発表会の概要と心構え				
3、4	テーマ・タイトル決め				
5、6	役割分担・チームメンバー役割決め、スケジュール作成				
6～15	個々制作、チーム制作				
16～25	個人練習①改善				
25～30	チームごとの練習①改善				
31～35	個人練習② 改善				
36～38	チームごとの練習② 改善				
39～42	セッティング 通しリハーサル				
43～54	全体リハーサル				
55～70	全体リハーサル				
71～90	全体リハーサル				
90～119	全体リハーサル				
120～125	本番				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出欠席 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴	ホテル(宿泊部門、料飲部門)にて計7年間勤務した。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	フューネラルビジネス				
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1、葬儀の仕事を通して、目指す社会人像を見つける				
学習目標 (到達目標)	目指す社会人像・スタッフ像を見つける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイントにて講義。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	授業の目的、葬儀を行う意味	パワポで説明。授業最後にアンケートを実施。			
2	葬祭業界の仕事と求められる力	パワポで説明。授業最後にアンケートを実施。			
3	葬儀のケーススタディから、仕事のやりがいを知る	パワポで説明。授業最後にアンケートを実施。			
4	映像視聴「プロフェッショナル納棺師 木村光希」	パワポで説明。授業最後にアンケートを実施。			
5	葬儀のケーススタディから、時間や命の大切さを知る	パワポで説明。授業最後にアンケートを実施。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出欠席100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		自分が目指す業界や職種との共通点を見つけて、自分事として考えてください。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わる。				
定期テスト50%、出席率30%、学習意欲(授業態度)20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。	基本的な知識を身につけることは大切です。基本的な備品の名前や西洋料理、朝食、日本料理、中国料理を学ぶことで料飲の世界の奥深さや魅力も知ってほしいと考えています。また、知識を身につけることでお客様へのご案内に自信が付き、接客時にお客様へお伝えすることができます。				
実務経験教員の経歴	客船乗務員(サービス全般)に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダルスタンダード				
担当教員	伊波華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1、ブライダルの由来について理解する 2、ディスカッションにて意見を出し合う				
学習目標 (到達目標)	一般教養として結婚式・披露宴を学ぶ(結婚式に招待されたときなど)				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ノートのみ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	結婚式にまつわる意味や由来について		パワポで説明。ディスカッション。		
2	披露宴の演出について		パワポで説明。ディスカッション。		
3	披露宴の演出について		パワポで説明。ディスカッション。		
4	披露宴の演出について		パワポで説明。ディスカッション。		
5	結婚式に招待された場合のポイント説明		パワポで説明。ディスカッション。		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出欠席100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		グループディスカッションを通して、自分の考えを持ち人に述べる力を育てる。ブライダルにおいての一般常識を学ぶ			
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナー、アテンダー、衣裳コーディネーターとして現場に約12年携わる				

科目名	ホテル概論Ⅰ（初級編）				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	5
授業概要、目的、 授業の進め方	ホテルや宿泊産業の概要、観光産業の中の位置付けを理解する。ホテルの種類や形態、その組織及び代表的な職種とその業務内容を体系的に学び、業務の基礎知識も身につけて行く。そして、ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、この後に続く就職活動・進路選択に役立てて行く。				
学習目標 (到達目標)	1.ホテル業界の概要、ホテルの種類、及び各部門の代表的な職種・業務内容の把握と基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント教材（適宜、レジュメ資料を配布）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ホテル業界を取り巻く環境・現況		レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
2	ホテルの種類・形態		↓		
3	ホテルの職種・職務内容				
4	ホテルの形態 / ホテルの種類・組織・職種				
5	代表的なホテル 事例紹介				
評価方法・成績評価基準					
出席(ミニ課題含む) 40点 授業態度 10点 中間試験 20点, 期末試験 30点 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後に続くインターンや就職活動・進路選択に役立てて行く。		
実務経験教員の経歴		ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダル総論Ⅰ				
担当教員	古田千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	80
授業概要、目的、授業の進め方	ブライダル基本知識を理解し、ブライダルコーディネーター技能検定に備える				
学習目標 (到達目標)	知識だけではなく、職業観を意識させていく。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブライダルコーディネーターテキスト エキスパート				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～10	授業動機付け、ブライダル基本知識 p238～ 第1章、第2章	実務			
11～20	ブライダル基本知識 第3章～第5章、豆テスト実施	実務 テストプリント			
21～30	ブライダル基本知識 第6章～第8章、豆テスト実施	実務 テストプリント			
31～40	ブライダル基本知識 第9章～第11章、豆テスト実施	実務 テストプリント			
41～50	ブライダル基本知識 第12章～第15章、豆テスト実施	実務 テストプリント			
51～60	課外授業、振り返りレポート作成、前期テスト実施	実務 テストプリント			
61～70	ブライダル基本知識 第16章～第18章、豆テスト実施	実務 テストプリント			
71～80	ブライダル基本知識 第19章～第22章、豆テスト実施	実務 テストプリント			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率50%、学科テスト50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		ブライダルの基礎知識が理解できているか確認のための豆テストを実施し、理解度を把握する。			
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナーとして6年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	Associate Bridal Coordinator制度認定試験対策				
担当教員	古田千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1、ブライダルの基礎知識を理解する 2、認定試験に合格する				
学習目標 (到達目標)	知識だけではなく、職業観を意識させていく。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブライダルコーディネーターテキスト エキスパート				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1～6	M I X問題①テスト実施、答え合わせ			プリント	
7～12	M I X問題②テスト実施、答え合わせ			プリント	
13～18	M I X問題③テスト実施、答え合わせ			プリント	
19～25	M I X問題④テスト実施、答え合わせ			プリント	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
出席率50%、検定結果50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				過去問題で理解していない箇所は何度も復習をする。練習問題を行い、問題になれる。	
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナーとして6年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	パーソナルカラリスト検定3級対策				
担当教員	伊波華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科ウェディングコース	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	40
授業概要、目的、授業の進め方	1、教科書、問題集を使い知識を深める 2、色を意識したコーディネート方法を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	パーソナルカラリスト検定3級合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パーソナルカラリスト検定3級公式テキスト、問題集、カラーカード				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	色と心理				
3.4	色のしくみ、眼、色の三属性		教科書P26～28		
5.6	色相図、色調図、色相配色、色調配色		教科書P31、P32、33		
7.8	色相図まめテスト、色相配色、色調配色、配色問題		教科書P34～40		
9.10	色調図、配色まめテスト、アンダートーン配色		教科書P48～56		
11.12	アンダートーン図まめテスト、配色問題、色の感情効果				
13.14	前期テスト				
15.16	前期復習、配色テクニック		教科書P41～43、62～65		
17.18	パーソナルカラー①		教科書P75～95		
19.20	パーソナルカラー②		教科書P75～95		
21.22	実践コーディネート		ドレス着用		
23.24	ファッションの歴史		教科書P60、61、66、74		
25.26	過去問題①				
27.28	過去問題②				
29.30	過去問題③				
31.32	過去問題④				
33.34	過去問題⑤				
35.36	過去問題⑥				
37.38	模試①				
39	模試②				
40	パーソナルカラリスト検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
検定90%、出欠席10% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			検定合格も大切だが、実際に使える色あわせをできるようになりましょう。		
実務経験教員の経歴	ウェディングプランナー、コーディネーター、ドレススタイリストとして12年現場に携わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービス（ウエディング実務Ⅰ）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	9
授業概要、目的、授業の進め方	ホテルの料飲部門に必要な知識を座学形式で身につける。 実際の機材などを確認しながら、目から入る情報も大切にする。				
学習目標（到達目標）	基本的な料飲部門の知識を身につける（什器、食器、備品類、西洋料理、朝食、日本料理、中国料理の基礎知識）				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	Ⅰ	第1章 料飲部門の概要	ホテルの料飲部門を知る ホテルレストランの種類、宴会の種類を知る		
2、3	Ⅰ	第2章 什器・食器・備品類の知識	銀食器の種類を学ぶ、陶磁器の種類を学ぶ		
4、5	Ⅰ	第2章 什器・食器・備品類の知識	ガラス食器の種類を学ぶ、リネン類、ワゴン類を学ぶ		
6、7	Ⅰ	第4章 西洋料理の基礎知識	フランス料理のフルコースの概要を学ぶ		
8	Ⅰ	第4章 西洋料理の基礎知識	フランス料理のフルコースの概要を学ぶ		
9		確認テスト			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			基本的な知識を身につけることは大切です。基本的な備品の名前や西洋料理、朝食、日本料理、中国料理を学ぶことで料飲の世界の奥深さや魅力も知ってほしいと考えています。また、知識を身につけることでお客様へのご案内に自信が付き、接客時にお客様へお伝えすることができます。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービス（ウエディング演習Ⅱ）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	12
授業概要、目的、授業の進め方	前期は、ホテルでの料飲サービスに必要な基本的知識を実践形式で身につける。実際に動きながら、自身の体に技術を覚えさせるような意気込みで進めていく。				
学習目標（到達目標）	一連のレストランサービスができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1、2	接客のお辞儀と挨拶、サービスの実践	お辞儀と接客7大用語がきれいにできる。プレート2枚持ちを実践し、お皿の重さを感じてみる。			
3、4	プレートサービスと下げの方法の理解と実践				
5、6	トレイ、グラス、ウオーターピッチャーの扱い方や運び方の理解と実践				
7、8	サーバーの扱い方の理解と実践 ワインボトルの扱い方、サービスの実践				
9、10	前回の復習、一連の流れ（お迎え、着席補助、オーダー、離席補助、	一連の流れを止めながら、確認していく			
11、12	実技テスト①				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		ホテルでの料飲サービスの基本的技術が身につくように、日々の授業で習う技術を大切にしてください。また、技術を磨くことは自身のためでもあります。いちばんはお客様に楽しいお食事の時間を提供できるためだということを理解しながら、技術を身につけてください。			
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービス（ウエディング実務Ⅱ）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	14
授業概要、目的、 授業の進め方	ホテルの料飲部門（特に宴会部門）に必要な知識を座学形式で身につける。 実際の機材などを確認しながら、目から入る情報も大切にする。				
学習目標 (到達目標)	前期の振り返りと基本的な宴会部門の知識を身につける				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前期の振り返り				
2, 3	I 第5章	朝食の基礎知識	朝食の料理内容やアメリカンブレイクファーストやコンチ ネンタルブレイクファースト等を学ぶ		
4, 5	I 第6章	日本料理・中国料理の基礎知識	日本料理の種類や作法、中国料理の種類や作法を学ぶ		
6, 7	I 第6章	日本料理・中国料理の基礎知識	日本料理の種類や作法、中国料理の種類や作法を学ぶ		
8, 9	III 第1章	宴会部門概要	宴会の概要を学ぶ		
10, 11	III 第3章	宴会サービス	宴会のサービス方法を学ぶ		
12, 13	2年次の国家検定取得の意義と動機付け		国家検定について説明し、取得の意義や重要性を伝える		
14	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)と する。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			基本的な知識を身につけることは大切です。知識を身につけるこ とでお客様へのご案内に自信が付き、接客時にお客様へお伝えす ることができます。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービス（ウエディング演習Ⅱ）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	12
授業概要、目的、授業の進め方	後期は、前期で学んだ技術が身についているか確認し、成長を実感する。 また、さらに高度な技術を身につけるとともに、2年次のコース選択の考察にも活かす。				
学習目標 (到達目標)	一連のレストランサービスができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	前期技術の振り返り				
2、3	テーブルサービスの形態を実践で学ぶ	ロシア式、フランス式、イギリス式、アメリカ式			
4、5	スープチュリーンを実践で学ぶ				
6、7	ワイン抜栓を実践で学ぶ				
8、9	テーブルクロスのおき方、畳み方等実践で学ぶ				
10、11	フルコースのテーブルセッティングを実践で学ぶ	前菜、スープ、魚、肉、水、シャンパン、白ワイン、赤ワイン			
12	全体振り返り、2年生への意識づけ				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		ホテルでの料飲サービスの基本的技術が身につくように、日々の授業で習う技術を大切にしてください。また、技術を磨くことは自身のためでもあります。いちばんはお客様に楽しいお食事の時間を提供できるためだということを理解しながら、技術を身につけてください。			
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	和装着付けⅠ				
担当教員	古田千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	1、着物の名称について理解する 2、着物や襦袢のたたみ方ができる 3、着物を着ることができる 4、浴衣を着ることができる 5、筆記と実技テストに合格させる				
学習目標 (到達目標)	着物や小物の基礎知識を学ぶ、着付け初級全員修了を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	日本のきもの(初級テキスト)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	授業概要、教材確認、サイズあわせ、長襦袢のたたみ方、お辞儀の仕方		実習		
3.4	着物を着る。着物の名称、体型補正、長襦袢、着物の着方、たたみ方、小テスト①配布		実務、実習		
5.6	着物を着る。着方、たたみ方。小テスト①解答		実務、実習		
7.8	着物を着る。名古屋帯の結び方、たたみ方。小テスト②配布		実務、実習		
9.1	着物を着る。小テスト②解答。小テスト③配布		実務、実習		
11.12	浴衣を着る。小テスト③解答		実務、実習		
13～15	筆記、実技テスト		実務、実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、授業態度10%、実技テスト40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			毎回の授業を復習し、時間内に丁寧にを行う。自分で着物を着ることが出来るようになり、小物の名前や着物の名前も覚える		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	NEW AGE lab.ゼミ				
担当教員	大貫未貴	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ドレススタイリストの業務を理解する 2、内定をもらえる身だしなみができる				
学習目標 (到達目標)	知識だけではなく、職業観を意識させていく。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	自分に似合うドレス		講義		
3.4	講演会		講義		
5.6	ドレスが似合う会場		ワーク		
7.8	ドレス実技		実技		
9.10	ドレスの着せ方		実技		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			職業を意識することにより、自分に意識を向けましょう		
実務経験教員の経歴	レストランサービスを2年、ドレススタイリスト4年経験				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ラグジュアリーサービスⅠ			
担当教員	大貫未貴	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	88
授業概要、目的、 授業の進め方	1、役割を責任をもって全うする 2、自分たちにとってのラグジュアリーサービスを定義づける 3、感動を提供し、自分も感動できるくらい頑張る 4、保護者へ成長した姿を披露する				
学習目標 (到達目標)	イベントを成功させ、自身の目標も達成する。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	説明、役割説明		グループワーク、プリント		
5～8	役割決め				
9～12	スケジュール説明と各自作業進める				
13～16	テーマ、テーマカラーの検討、デッサン画書き始め				
17～20	式次第検討、シート作成				
21～24	再度式次第検討、シート作成				
25～28	パンフレットの作成、2回目の打ち合わせ段取り、台本作成、 Mリストアップ、カクテルの作成、会場装飾作成		B G		
29～35	当日の動きを想定した練習				
36～41	当日の動きを想定した練習				
42～47	当日の動きを想定した練習		実習		
48～55	当日の動きを想定した練習				
56～62	リスクを考える・持参物を表にする、買い出し				
63～68	リハーサルとチェック、修正				
69～74	前日 リハーサル				
75～80	前日 リハーサル				
80～88	当日 片づけ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度40% 試験60% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			アプリを中心に学び、単語テストも適宜行う。		
実務経験教員の経歴		レストランサービス2年、ドレススタリスト4年経験			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザインⅡ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	90
授業概要、目的、授業の進め方	社会人になる前の心と体の準備を行う。自身の将来を考え、企業でどのように活躍していきたいかなど考える。目標を立て、そこに向かって学生時代に行うことができることを精一杯行う。				
学習目標 (到達目標)	最終学年としての自覚を持ち、社会人としての人材育成を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スタディサプリ、スクールライフアンケート、その他プリントなど				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～5	学校生活のルールを改めて理解する。新しいクラスの友人とコミュニケーションを図る、就職活動	面談、自習			
6～10	就職活動の進捗状況を担任と確認する 内定者は、次の目標について考える	面談、自習			
11～15	自分を理解し、今後のキャリアデザインを考える	面談、自習			
16～20	1年生との交流を図る。	ディスカッション			
21～25	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める				
26～30	様々なイベントをお互いに見学しあい、刺激しあう。 それを自身のイベントに活かす。	レポート			
31～35	卒業制作に向けての準備を行う	ディスカッション			
36～40	前期を振り返る。最後の学生生活であることを意識する。	レポート			
41～50	後期の動機付け、後期目標設定、シート記入	プリント			
51～60	卒業までの残りを実感し、何をするべきか考える	ディスカッション、レポート			
61～70	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める	ディスカッション			
71～75	年明けのスケジュール確認	プリント			
76～83	クラス交流、1、2年生交流会、座談会	ディスカッション			
84～90	修了式、学生生活の振り返り、まとめ				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率50%、学習意欲（授業態度）50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		社会人になるまであと1年もないということを自覚して、後悔のないように1回1回を大切に考えながら進めること。			
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名		ビジネス実務Ⅱ			
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	一度学習したテキストを中心に文書の書き方を繰り返し学習する。PCを使って、実際の社内文書、社外文書、メール文書等を仕上げていく。新たに、即戦力として役に立つ日常ビジネスマナーを身に付ける。				
学習目標 (到達目標)	敬語、ビジネス用語と漢字、基礎ビジネス文書に加えて、電話対応、来客対応をロールプレイをしながら一人で判断して対応できるレベルにする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践ビジネスマナー				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
12	ガイド 第1章	表記技能/実践ビジネスマナー 電話対応	漢字、書式のテキスト内の問題を解く/ロールプレイ		
34	ガイド 第1章	表記技能/実践ビジネスマナー 電話対応	漢字、書式のテキスト内の問題を解く/ロールプレイ		
56	ガイド 第2章	表現技能/実践ビジネスマナー 電話対応	正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
78	ガイド 第2章	表現技能/実践ビジネスマナー 来客対応・敬語	正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
9・10	ガイド 第3章	実務技能/実践ビジネスマナー 名刺の受け渡し	社外文書の例を探す/ロールプレイ		
11・12	ガイド 第3章	実務技能/実践ビジネスマナー テスト練習	社外文書の例を探す/ロールプレイ		
13・14	期末テスト				
15	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験結果50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅱ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1. 実践行動学Ⅰで学習した内容を踏まえ、1年間の振り返りを行う 2. 働くことへの意識を気付き→認識→一般化→応用という手法をとり入れ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	社会人へでの準備→2年後の目標→ライフプランへと段階を経て、将来の自分を具現化させる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パート3 マジックドア1 入学から今日までの成長を実感する		個人作業・グループディスカッション		
2	パート3 マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう		個人作業・グループディスカッション		
3	パート3 マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは		個人作業・グループディスカッション		
4	パート3 マジックドア4 将来を描いてみよう		個人作業・グループディスカッション		
5	パート3 マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう		個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			就職直後、数年後、未来・・・の目標を描かせることで、ポジティブな気持ちを継続させる。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ホスピタリエ			
担当教員	高橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	1ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	ナレッジツリーのしくみを理解し、日常生活の中で知識教養が自然に身についていく生活習慣をつくる ホスピタリティ産業の中で、ホスピタリティがどのように活用され、あるいは活用されていないかを知り、実際のビジネスの現場について学びながら、自然にセカンドステップが発想できるようにトレーニングする。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ホスピタリエが学ぶホスピタリティ		パワーポイント		
2	ホスピタリエとしてのホスピタリエの自己紹介		パワーポイント		
3	ホスピタリエの共感と同感の再確認と共感力コミュニケーション		パワーポイント		
4	知識を深めるナレッジツリー		パワーポイント		
5	ホスピタリエの教養講座①		パワーポイント		
6	ホスピタリエの教養講座②		パワーポイント		
7	ホスピタリエの教養講座③		パワーポイント		
8	ホスピタリエの教養講座④		パワーポイント		
9	ホスピタリエの教養講座⑤		パワーポイント		
10	ホスピタリエの教養講座⑥		パワーポイント		
11	ホスピタリエの共感レポート		パワーポイント		
12	自分のイヤ 自分以外の人のイヤ		パワーポイント		
13	料飲ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
14	ホテルビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
15	ウェディングビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
16	フューネラルビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
17	医療ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
18	航空ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
19	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業		パワーポイント		
20	ホスピタリエの共感レポート		パワーポイント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。		
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅲ				
担当教員	竹内正明		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、 授業の進め方	データ入力、表計算、グラフ作成、データベース検索のスキルを学び、E X C E L 検定初級を受検する。				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ エクセル文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	サーティファイ E X C E L 2021クイックマスター基本編 エクセル文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～3	エクセルの基本 データの編集 表の編集		実習		
4～6	ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理		実習		
7～9	関数 データベース機能		実習		
10～12	練習問題1		実習		
13～15	練習問題2 3		実習		
16～18	模擬問題1 2		実習		
19～21	模擬問題3 4		実習		
22～24	模擬問題5 6		実習		
25・26	模擬問題7 苦手箇所の練習		実習		
27～33	サンプル問題 事前対策		実習		
34・35	エクセル検定3級受検		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			復習をメインに模擬問題を確実なものにすることで、検定合格に結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。		
実務経験教員の経歴	営業、企画、学校設立、教育指導経験あり				

科目名	日常英会話 II				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています。毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。</p>				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	オリエンテーション Unit1		スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト		
3	Unit1 Lesson5 トレーニング1・2・4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング1・2・4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング1・2・4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング1・2・4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング1・2・4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング1・2・4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング1・2・4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング1・2・4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング1・2・4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング1・2・4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング1・2・4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング1・2・4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング1・2・4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング1・2・4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング1・2・4				
22	Unit16 Lesson80 トレーニング1・2・4				
23	テスト練習				
24	テスト				
25	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度40% 試験60% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			アプリを中心に学び、単語テストも適自行う。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

科目名	卒業制作				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	卒年次生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	100
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>学生たちの理想とするホテル運営を説得力をもってプレゼンできるように調査、実証をしていくフィールドワークやディスカッションが中心。</p> <p>イベントを通して、学年全体のつながりや、プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につけ、イベントを実施する</p>				
学習目標 (到達目標)	卒業制作発表会で、保護者や企業に発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	動機付け、発表の内容、スケジュールについて		プリント		
3.4	グループにてスケジュール確認、発表内容と報告書の作成		プリント		
7～10	企業や団体などをリストアップし、現状や取り組みについてのアンケートや調査を行う		グループワーク		
11～14	スケジュールや進め方（新グループ、メンバー）を全体で共有する				
15～18	各グループは報告書完成させる。当日の会場装飾の準備を始める 実行委員は招待客のリストを作成する				
19～22	当日の発表に必要な台本+パワポを作成する				
23～26	当日の会場で、本番のイメージをつかむ				
27～30	台本+パワポの修正。完成。				
31～36	台本見ながら全体リハーサルを行い、他のグループ発表を聞いて、卒制全体のイメージをつかむ				
37～42	全体リハーサルの準備を始める（台本とパワポのタイミングを合わせる）				
43～48	企業の方に企画や発表を見ていただき、内容をより精査する 全体リハーサルの準備を行う（前後のつながりを考える）				
49～65	全体リハーサルを行い、卒制全体の流れを一人ひとりがつかむ				
66～71	全体リハーサルの準備を行う（聞いている人に伝わる話し方を意識しよう）				
72～77	全体リハーサル⇒振り返り、修正				
78～83	前日リハーサル⇒振り返り、修正				
84～93	企業、保護者本番				
94～100	振り返り（個人シート、グループ、実行委員他）				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>卒制実施30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。</p>			<p>業界の現状を調査し、課題を見つけ、それに対する提案を考えていきます。学生ならではの視点を重視し、実現可能かどうかも含めて、大人の意見を聞きながら進めていきます。自分たちの考えをまとめ、発信し、業界をよりよくするための発表を行います。</p>		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり				

科目名	レストランサービス技能検定3級対策（学科）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	88
授業概要、目的、授業の進め方	レストランサービス技能検定3級学科試験合格を目指し、座学を中心にしながらテキストを進めていく（受験資格に受講することが必須）				
学習目標（到達目標）	レストランサービス技能検定3級学科試験合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	西洋料理 料飲接客サービス技法 プリント、確認テスト				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1～3	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第1節 食品				
4、5	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第1節 食品				
6～8	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第2節 西洋料理に使用される主な食材				
9、10	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第2節 西洋料理に使用される主な食材				
11～13	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第3節 一般的な西洋料理調理法、第4節 飲料の種類および特徴				
14、15	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第4節 飲料の種類および特徴、第5節 メニュー				
16～18	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第6節 西洋料理の食器用具・備品				
19、20	確認テスト				
21～23	第2章 接客の基本 第1節～第4節				
24、25	確認テスト				
26～28	第3章 宴会とレストランサービス 第1節 宴会、第2節 レストラン				
29、30	第3章 宴会とレストラン 第3節 客席案内～第8節 メニュー管理				
31～33	第3章 宴会とレストランサービス 第9節 料理、食器等の異常～第12節 食事の国際習慣				
34、35	確認テスト				
36～38	第4章 食文化				
39、40	第5章 施設管理				
41～43	第6章 苦情対応と遺失物の取り扱い				
44、45	確認テスト				
46～48	第7章 食品衛生および公衆衛生 第1節 食品衛生				
49、50	第7章 食品衛生および公衆衛生 第2節 公衆衛生～第3節 食品衛生法				
51～54	確認テスト、第8章 安全衛生 第1節 労働災害				
55、56	第8章 安全衛生 第2節 危険有害性				
57～59	第8章 安全衛生 第3節 労働安全衛生に関する法令				
60、61	全体振り返り解説				
62、63	確認テスト				
64～69	特別講習 問題演習				
70～75	特別講習 問題演習				
76～81	特別講習 問題演習				
82～86	特別講習 問題演習				
87、88	丸付け、振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			食に関わる知識全般を学びます。わからない、難しい用語などは自身で調べ、頭の中に映像が浮かぶように準備をしてください。そうすることで食に関わる様々な事例に臨機が通り、使役のためだけでなく自身の仕事に直結した知識を覚えたいと感じるはずで、それが、お客様への良の安全にもつながります。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	レストランサービス技能検定3級対策（実技）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	63（前28、後35）
授業概要、目的、授業の進め方	レストランサービス技能検定3級実技試験合格を目指し、実技を中心にしながら進めていく （受験資格に受講することが必須）				
学習目標 （到達目標）	レストランサービス技能検定3級実技試験合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	西洋料理 料飲接客サービス技法 日本ホテル・レストランサービス技能協会からの3級実技課題プリント				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1、2	動機付け、前年の実技試験課題デモンストレーションと説明				
3、4	演習 案内からパンサービスまで	セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認			
5、6	演習 案内からパンサービスまで	セリフ、動き台本を確認し、通して確認			
7、8	演習 案内からパンサービスまで	セリフ、動き台本を見ずに通して確認			
9、10	演習 パンサービスからお見送りまで	セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認			
11、12	演習 パンサービスからお見送りまで	セリフ、動き台本を確認し、通して確認			
13、14	演習 パンサービスからお見送りまで	セリフ、動き台本を見ずに通して確認			
15、16	演習 お見送りからからりセットまで	セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認			
17、18	演習 お見送りからからりセットまで	セリフ、動き台本を見ずに通して確認			
19、20	演習 お見送りからからりセットまで	セリフ、動き台本を見ずに通して確認			
21、22	演習 全体	セリフ、動き台本を見ずに通して確認			
23～25	実技確認テスト①				
26～28	実技確認テスト②				
29、30	実技試験課題デモンストレーションと説明				
31、32	演習 案内からパンサービスまで	セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認			
33、34	演習 案内からパンサービスまで	セリフ、動き台本を確認し、通して確認			
35、36	演習 案内からパンサービスまで	セリフ、動き台本を見ずに通して確認			
37、38	演習 パンサービスからりセットまで	セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認			
39、40	演習 パンサービスからりセットまで	セリフ、動き台本を確認し、通して確認			
41、42	演習 パンサービスからりセットまで	セリフ、動き台本を見ずに通して確認			
43、44	演習 全体（みだしなみチェック①）	セリフ、動き台本を見ずに通して確認			
45、46	演習 全体	セリフ、動き台本を見ずに通して確認			
47、48	演習 全体	制限時間に近づけるようタイムも気にする			
49、50	演習 全体（みだしなみチェック②）	制限時間に近づけるようタイムも気にする			
51、52	演習 全体	タイムを縮める			
53、54	演習 全体	タイムを縮める			
55、56	演習 全体（みだしなみチェック③）	タイムを安定させる			
57、58	演習 全体	タイムを安定させる			
59、60	苦手パート克服				
61～63	反復練習、振り返り				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		実技試験当日に緊張して制限時間をオーバーすることのないように何度も反復練習を行います。学校内の練習を日々、緊張感を保ち行うことが重要です。また、試験当日の想像をして、備品の違いや会場の違いに戸惑わないようにしていきます。			
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名	ホテルマネジメント				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	45
授業概要、目的、授業の進め方	講義と演習を通して、ホテル業界の現況・時事を把握するとともに、近い将来、マネジメントとしての活躍に必要な、人、もの、カネ、情報といったホテル産業における経営資源の管理手法の基礎を幅広く学ぶ。ビジネスとしてのホテルを理解し、自身のキャリア形成に必要な考える力を身につけていく。				
学習目標 (到達目標)	ホテルのマネジメント業務を理解し、実践的な実務を可能にする。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	授業ガイダンス / ホテル関連業界動向		レジュメ		
3、4	ホテル産業の特性				
5、6	部門別マネジメント・宿泊部門 レベニューマネジメント 計数管理				
7、8	部門別マネジメント・宿泊部門 レベニューマネジメント 計数管理				
9、10	部門別マネジメント・宿泊部門 宿泊予約実務				
11、12	部門別マネジメント・宿泊部門 宿泊予約実務				
13、14	部門別マネジメント・宿泊部門 フロント実務				
15、16	部門別マネジメント・宿泊部門 客室管理実務				
17、18	部門別マネジメント・宿泊部門 客室管理実務				
19、20	グループワーク		↓		
21、22	グループ・プレゼンテーション<期末試験>		評価・資料提出		
23、24	ホテル業界概況/後期内容		レジュメ		
25、26	業界動向・時事・事例紹介				
27、28	部門別マネジメント・料飲部門 オペレーション/コンセプト				
29、30	部門別マネジメント・料飲部門 予算管理（売上）				
31、32	部門別マネジメント・料飲部門 予算管理（F&Bコントロール）				
33、34	部門別マネジメント・料飲部門 予算管理（人件費コントロール）				
35、36	部門別マネジメント・料飲部門 予算管理（P/Lの理解）				
37、38	部門別マネジメント・料飲部門 セールスプロモーション				
39、40	グループワーク：レストラン計画（プレゼン準備）		↓		
41、42	グループワーク：レストラン計画（プレゼン準備）				
43～45	グループ・プレゼンテーション<期末試験>		評価・資料提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率40% 授業態度20% 試験40% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ホテルのマネジメントの業務を理解し、求められる資質や心構えも含めて理解し、その後に続く就職活動・進路選択に役立てていく。		
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	セールス&マーケティング				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	ホテルの利益がどのように生まれるのか、利益を得るために、どのようにSNSを使用していけばよいのかなど、集客方法を学び理解し、10月の卒業制作へと繋げ、企画に活かす。				
学習目標 (到達目標)	セールスとマーケティング業務の理解、SNSとの付き合い方を理解する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ホテルの収益構造についての考察		パワーポイント		
3.4	営業部門、料飲部門についての考察				
5.6	SNS 広報・宣伝活動についての考察				
7.8	宿泊部門についての考察				
9.10	地域連携についての考察				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			SNSは一歩間違えば、事件・事故につながるため、大前提としてSNSの危険性を理解し授業に取り組む。		
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	観光概論				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	ホテルは観光の一部であるということ理解し、ホテルスタッフとして観光の重要性を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	観光学の基礎と多面性を理論と具体例から理解する。 観光の現場や学術において使われるキーワードを学ぶ。 典型的な観光現象について知識を深める。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	2024年版観光ビジネス未来白書				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2	観光ビジネスの概要と世界動向 世界各国の観光振興戦略、国際観光収支の実態、観光の経済効果	2024年版観光ビジネス未来白書			
3.4	旅行関連ビジネス 旅行業ビジネス、着地型観光ビジネス				
5.6	宿泊関連ビジネス				
7.8	旅客輸送サービスビジネス				
9.10	まちづくり関連観光ビジネス				
11.12	レジャー・サービス関連観光ビジネス				
13-15	教育関連観光ビジネス				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		SNSは一歩間違えれば、事件・事故につながるため、大前提としてSNSの危険性を理解し授業に取り組む。			
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

科目名	イベントプロデュースII (ホテル運営企画)				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択 (ホテルコース)	単位数		時間数	100
授業概要、目的、 授業の進め方	10月30日に学校が提携している実習施設 (ホテルイタリア軒様) の客室 (30室) を買取、学生のアイデアで販売、運営するための準備授業となる。 ツーリズムの取り組みで成長している金沢市のホテル企業に協力していただき、研修を実施。その後、地元のシャッター街化している地元新潟市のツーリズムについて考え、交流人口を増やせる魅力ある企画をホテルスタッフ目線で提案、集客、実行する。				
学習目標 (到達目標)	就職後に自分の地域で学習したことを役立てられる。Win-Winの関係を築くために行動がおこせる。地域の魅力発信や集客に役立つ企画を考え、提案、実行する。多くの企業や大人と関わることで、伝え方や考え、社会の仕組みを相対的に学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	インバウンドの回復、コロナ後の日本景気的好調もあり、ホテルを中心としたツーリズムをフィールドワーク、集客を通じてのイベント運営を行う。チームに分かれての行動や研修、講話が多くなる。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2	オリエンテーション	動画、PPT			
3.4	地域活性化に取り組む企業様からの講演①	月岡温泉	株式会社泉慶	飯田様	
5.6	講演の振り返り・SNSの発信	SNSの発信を始める			
7.8	地域活性化に取り組む企業様からの講演②	星野リゾート	OMO5金沢片町	海野様	
9、10	フィールドワーク説明 (石川県金沢市のホテルの取り組み)				
11～20	金沢市内ホテル研究				
21～30	金沢市内でのフィールドワーク (各社の協力を得てツーリズムについて講義、研修を受ける)	イベントへの参加や企業訪問など			
31～40	フィールドワーク共有と地元の調査				
41～60	企画・立案を進める				
61～75	プレゼン・修正				
76～90	リハーサル、修正				
91～100	客室の販売準備完成				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
発表試験80%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		探求型学習になるが、こまめにチェックをし褒めることを忘れな			
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名	ホテル業界・顧客研究II				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	48（前15、後33）
授業概要、目的、授業の進め方	将来、ホテルで働く者として、ホテル業界について自身で調査をし、理解を深めていく。調査したことを発表し、共有することで興味を広げたり、全体の理解度を高めていく。また、顧客としてホテルにいらっしゃるお客様がどのような方々なのかを体験から学ぶ。				
学習目標（到達目標）	業界や顧客を理解し、様々なニーズに対応できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	目的説明、調査テーマ検討				
3、4	調査①-1 現地見学①		パソコンで調査		
5、6	体験①-2		体験		
7、8	共有①-3		シートにまとめる		
9、10	調査②-1 現地見学②				
11、12	体験②-2				
13、14	共有②-3				
15	前期振り返し、まとめ				
16、17	目的説明、調査テーマ検討				
18、19	調査テーマ検討				
20、21	調査③-1 現地見学③				
22、23	体験③-2				
24、25	共有③-3				
26、27	調査④-1 現地見学④				
28、29	体験④-2				
30、31	共有④-3				
32、33	調査⑤-1 現地見学⑤				
35、36	体験⑤-2				
37、38	共有⑤-3				
39、40	調査⑥-1 現地見学⑥				
41、42	体験⑥-2				
43、44	共有⑥-3				
45～48	前期振り返し、まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			自信で興味をもって調査をしましょう。それを体験することで、理解を深め、接客に活かせる経験になるよう努めましょう。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

科目名	国際文化理解				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	インバウンド対応の中心の現場で働くホテルスタッフがその政策の成り立ちや各国の行事や国民性、宗教などについて学ぶことは大変重要だと考える。それを座学を中心に学んでいく。				
学習目標（到達目標）	日本と海外諸国との関係性。日本政府の海外政策などを学ぶ。また、海外の宗教や国民性、行事などの理解を深める。宗教的な食事の禁忌なども学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料、PPプレゼン				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	宗教の基本的な知識		レジュメ		
3、4	宗教上の基本的な禁忌				
5、6	国際儀礼プロトコール				
7、8	インバウンドの誘致				
9、10	インバウンドの接遇		↓		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			海外に関して関心を持ち、各国からいらっしゃるお客様のことを理解すること。そして、喜んでいただくためにはどのようなことに注意が必要かを学び、接客に活かしてほしいとかがえています。		
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

科目名	サスティナブルトラベル				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	サスティナブルトラベルという言葉が浸透してきた現在、働くうえで知っておいた方が良い、SDGsとホテル、観光のつながりをグループワークを通して学びます。内定先や就職希望先の企業がどのような取り組みをしているのか事前に知ることに入社の意識も高めます。				
学習目標 (到達目標)	SDGs、地域共生社会という一般教養を身につける。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	SDGsとは何か、		プリント		
3、4	SDGsにて興味のある項目調査				
5、6	SDGsにて興味のある項目調査				
7、8	調査内容共有				
9、10	内定先企業のSDGsへの取り組みを調べる				
11、12	内定先企業のSDGsへの取り組みを調べる				
13、14	質問事項をまとめ、企業へ確認をとる		プリント		
15～17	PPTに企業案内とSDGsの取り組みをまとめる				
18、19	後輩、同学年にむけて発表をする				
20	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率20% 授業態度10% 試験50%、レポート20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			SDGs、地域共生の重要性を理解し履修する		
教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

科目名	ホテル英語Ⅱ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1. 昨年同様のテキストを使い、より会話の上達を目指し取り組む。 2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な会話やテクニックを集中的に学ぶ。 3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。				
学習目標 (到達目標)	ホテル英会話の向上				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	的確に伝わる！ホテルの英会話				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	ホテル英会話を復習しよう		レベルチェックテスト		
3・4	Part1 フロント業務		テキスト、CD、ロールプレイ、単語テスト		
5・6	Part2 電話対応				
7・8	Part2 電話対応				
9・10	Part3 館内施設&レストラン				
11・12	Part4 クレーム&トラブル対応				
13・14	ロールプレイ総復習				
15・16	Part5 日本の文化を伝える				
17・18	ロールプレイ総復習				
19・20	期末テスト		期末テスト		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、学習意欲40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語に対して苦手意識をもっているため、予習時間を十分に取り、CDを活用したリスニングの宿題をさせる。高校1年生レベルから教え始めるほうが効果的です。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホテル英会話Ⅱ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1年次と同じテキストを使うがロールプレイを多く取り入れ、会話をより身近なものにする。				
学習目標 (到達目標)	インプットしている英語を間違ってもいいからアウトプットしようと努力する。英語で話すって楽しいとわかる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Hospitality English for Careers at Hotels				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	Unit 1 宿泊予約・予約変更				
3 4	Unit 2 フロントでのチェックイン・道案内		単語テスト		
5 6	ロールプレイ実習		発表		
9 10	Unit 3 フロントでのチェックアウト 外国通貨両替				
11・12	Unit 4 & Unit 11 客室案内 苦情対応		単語テスト		
13・14	ロールプレイ実習		発表		
15・16	Unit 5 大阪城観光 Unit 10 ギフトショップにて				
17・18	Unit 6 遺失物対応 バゲージダウン		単語テスト		
19・20	ロールプレイ実習		発表		
21・22	Unit 7 レストランでのオーダーテイキング				
23・24	Unit 8 朝食のオーダーテイキング		単語テスト		
25・26	ロールプレイ実習		発表		
27・28	Unit 9 & Unit 12 レストラン予約 苦情対応				
29・30	テスト		テスト		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
単語テスト20%、実習課題60%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英検準2級レベル。とにかく話をさせるように、身近な話題から取り掛かるように工夫する。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名	宿泊実務II				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	ホテルの宿泊部門の様々な業務をテキスト、実習を通して学ぶ。 また、TAPホテルシステムの基本操作ができるようになる。				
学習目標 (到達目標)	宿泊部門の重要性と業務を学び、TAPホテルシステムの操作ができるようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	TAPテキスト、ホテルテキスト（フロント・サービス編）、ホテルテキスト（フロント・オフィス編）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	ガイダンス、1年次の振り返り				
3、4	フロントオフィス、料金システム紹介、リザーベーション業務		テキスト		
5、6	リザーベーション業務、予約サイト比較		テキスト、レポート		
7、8	PMSとは、TAPガイダンス		テキスト		
9、10	TAPシステムを使ったフロント業務の実践①		テキスト、TAP		
11、12	TAPシステムを使ったフロント業務の実践②				
13、14	TAPシステムを使ったフロント業務の実践③				
15、16	TAPシステムを使ったフロント業務の実践④				
17、18	TAPシステムを使ったフロント業務の実践⑤				
19、20	TAPシステムを使ったフロント業務の実践⑥				
21、22	TAPシステムを使ったフロント業務の実践⑦				
23、24 、25	まとめ、TAP振り返り		▼		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率20% 授業態度10% 試験60%、レポート10%			就職後のイメージをしながら		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			予約業務の基礎を学び、知識と技術を習得する。		
実務経験教員の経歴		ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ケーススタディ				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	サービスの本質とはどのようなものか、ホテルで起こりうる様々な場面を提示し、それに対するベストな対応をケーススタディ通し考え実践する。				
学習目標 (到達目標)	お客様目線に立つことの大切さを学び、引き出しの多いスタッフを目指す。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント、参考書				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2	ガイダンス				
3.4	ケーススタディ① 対応研究	パワーポイント、参考書			
5.6	ケーススタディ① 実践				
7.8	ケーススタディ② 対応研究				
9.10	ケーススタディ② 実践				
11、12	ケーススタディ③ 対応研究				
13、14	ケーススタディ③ 実践				
15、16	ケーススタディ④ 対応研究				
17、18	ケーススタディ② 実践				
19、20	まとめ、振り返り	▼			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		素っ気ない対応にならないように、相手のことを考えられるようになる。			
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

科目名	中国語会話				
担当教員	藤田愛子		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1. 中国語の発音を理解し、発音できる 2. ホテルやレストランで聞かれる、伝えることを中心に会話ができる 3. 道を聞く、答えられる				
学習目標 (到達目標)	自己紹介、数字の聞き取り、簡単な案内ができるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	中国語 はじめの一步				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	中国語の発音		テキスト・発音の反復と単語テスト		
3・4	自己紹介文・発表				
5・6	人称代名詞;“是”の文				
7・8	人称代名詞;“是”の文				
9・10	指示代名詞;疑問詞疑問文;“的”の用法;				
11・12	指示代名詞;疑問詞疑問文;“的”の用法;				
13・14	副詞				
15・16	動詞の文				
17・18	「所有」を表わす“有”〔ほか〕				
19・20	物の数え方・ホテル・レストランで使うフレーズ				
21・22	総復習				
23～25	期末テストと振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験80%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			中国語を学ぶことが初めての学生が多いため、発音や書き方など間違いやすいところを含めて伝え、勘違いが起きない工夫をする。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名	アメニティデザイン				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	ホテルや施設で提供されるアメニティ（例：シャンプー、ボディソープ、タオルなど）をホテルにあったデザインや内容を考える授業です。実用的で魅力的なアメニティをデザインするスキルや知識を学ぶ。				
学習目標（到達目標）	アメニティは、ホテルなどでゲスト体験を向上させる重要な要素であるため、この授業では、アメニティの機能性或重要度を理解する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料、PPプレゼン				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1、2	ホテルにおけるアメニティとは	パワーポイント			
3、4	ホテルのアメニティとSDGs	↓			
5、6	ホテルに合ったアメニティ考案				
7、8	ホテルに合ったアメニティ作成				
9、10	まとめ、プレゼンテーション				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
確認テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		どのようなアメニティがあれば、ゲストの満足度が上がるのか考えながら取り組み、作成を行う。			
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

科目名	サービステクニク				
担当教員	渡邊先生		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	42（前24、後18）
授業概要、目的、授業の進め方	ロシアンサービスを実技を通して学んでいきます。様々な食材の知識、そして経費についても意識しながら技術を習得していきます。さらには、その技術がイベントやサービスコンクールへつながるよう意識づけしていきます。				
学習目標（到達目標）	ロシアンサービス（ゲリドンサービス）の技術を食材を使い、実技を通して学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料、ナイフ等				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	ゲリドンサービスの魅力を伝え、動機付けを行う。 オレンジカービングを行う		過去のサービスコンクール動画		
3、4	オレンジ&キウイカービング				
5、6	オレンジ&レモンカービング チェリージュビレ（3～4名ずつ実施）				
7、8	キウイ&グレープフルーツカービング チェリージュビレ（3～4名ずつ実施）				
9、10	リンゴのカービング チェリージュビレ（3～4名ずつ実施）				
11、12	パイナップルのカービング チェリージュビレ（3～4名ずつ実施）				
13、14	フルーツデコレーション チェリージュビレ（3～4名ずつ実施）		イチゴ、リンゴ、キウイの飾り切りとソースの盛り付け方法		
15、16	サラダの作成 チェリージュビレ（3～4名ずつ実施）				
17、18	ドレッシングの作成、サラダの作成 チェリージュビレ（3～4名ずつ実施）				
19、20	オリジナルディッシュ作成のための練習				
21～24	確認テスト（オリジナルディッシュ作成）				
25、26	前期技術振り返り（オレンジカービング） サービスコンクール学内選考会の動機付け				
27、28	カービング練習				
29、30	カービング練習				
31、32	カービング練習（確認テスト含む）				
33、34	カービング練習				
35、36	学内選考会				
37、38	振り返り				
39、40	カービング練習&シェイク練習				
41、42	カービング練習&シェイク練習（確認テスト含む）				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			ロシアンサービス（ゲリドンサービス）の技術をナイフ等を使って身につけていきましょう。様々な食材によってナイフの扱い方は変わります。それを、実際に食材に触れることで体験してください。客前でやることを前提に所作や身のこなしも大切です。 そして、学内選考は全員で取り組み、コンクール出場の有無にかかわらず外部審査員（市内ホテル）の方々に見ていただき、自身の成長を評価していきましょう。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	酒類知識				
担当教員	渡邊先生		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	30（前20、後10）
授業概要、目的、授業の進め方	酒類やカクテルの作成技術を座学、実技を交えながら学んでいく。 また、自身の道具やバーカウンターの整備、整頓方法や経費に関する基本的なビバレッジビジネスについて学ぶ。				
学習目標（到達目標）	基本的なお酒の知識や調酒技術の習得。サービスの在り方について考える力を養う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	動機付け、バーツール配布。備品の紹介				
3、4	酒類概論『お酒とは』 バーツールの扱い方、洗い方、片づけ方				
5、6	ビバレッジビジネスとは 基本動作の練習、バーカウンターの整理・整頓の仕方と重要性				
7、8	カクテル概論『技法、種類』 基本動作の練習				
9、10	醸造酒①『ワイン』 基本動作の練習				
11、12	醸造酒②『ビール』 基本動作の練習、ジントニック作成				
13、14	醸造酒③『日本酒』 シェイクの練習				
15、16	蒸留酒『スピリッツ』『ウイスキー』 シェイクの練習、バラライカ作成				
17、18	混成酒、副材料『リキュール』 シェイクの練習、グラスホッパー作成				
19、20	確認テスト（筆記試験）、サービスについて、前期のまとめ				
21、22	前期振り返り シェイクの練習、マティーニ、ホワイトレディ作成				
23、24	デコレーションについて シェイクの練習、ダイキリ作成				
25、26	基本テクニックとシェイクの練習 シェイクの練習、マルガリータ作成				
27、28	基本テクニックとシェイクの練習 グラスホッパー、アレキサンダー作成				
29、30	オリジナルカクテル発表会 授業全体のまとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			シェイクの技術だけでなく、ビバレッジビジネスについてもしっかりと学びましょう。それが、現場に出たときに、すぐに役立つことになるということを理解することが重要です。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	フードリサーチ				
担当教員	渡邊先生		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	28（前17、後11）
授業概要、目的、授業の進め方	食材について多方面から学び、特徴はもちろん、価値がわかるようになる。それを、お客様へご案内できることを目指し、経験値を上げていく。また、和・洋・中の料理の調理法や特徴などを深く調べる。				
学習目標（到達目標）	基本的な食材や調理法の習得。サービスの在り方について考える力を養う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料、食材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	動機付け、目的説明、調査テーマ検討				
3、4	調理法【フランス料理】				
5、6	調理法【日本料理】				
7、8	調理法【駐豪料理】				
9、10	食材調査①				
11、12	食材調査②				
13、14	食材調査③				
15、16	食材調査④				
17	確認テスト（筆記試験）、前期のまとめ				
18、19	前期振り返り、おいしさの表現について 調理法確認				
20、21	食材調査⑥				
22、23	食材調査⑦				
24、25					
26、27	食材調査⑧				
28	確認テスト（筆記試験）、後期のまとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			調理法だけでなく、食材について、おいしさの表現についてもしっかりと学びましょう。それが、現場に出たときに、すぐに役立つことになるということを理解することが重要です。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	表現技法				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択（ホテルコース）	単位数		時間数	18（前10、後8）
授業概要、目的、 授業の進め方	接客での表現力を正しい日本語を使って身につける				
学習目標 （到達目標）	1つの意味を伝えるのに、様々な表現があることを理解し、使えるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～3	発声、滑舌トレーニング 美しく、正しい接客のフレーズ				
4～6	『おいしい』の別表現を学ぶ・考える				
7、8	料飲接客に関する食材、ホテル案内に関する知識を学んだ後に、それを接客時に使える言葉で文章を作成する				
9、10	料飲接客に関する食材、ホテル案内に関する知識を学んだ後に、それを接客時に使える言葉で文章を作成する⇒共有する				
11、12	料飲接客に関する食材、ホテル案内に関する知識を学んだ後に、それを接客時に使える言葉で文章を作成する				
13、14	料飲接客に関する食材、ホテル案内に関する知識を学んだ後に、それを接客時に使える言葉で文章を作成する				
15、16	料飲接客に関する食材、ホテル案内に関する知識を学んだ後に、それを接客時に使える言葉で文章を作成する				
17、18	文章共有→まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			接客する際に様々な表現を使って、おいしさを伝えられるように、言葉の引き出しを増やしてほしいと考えています。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				